

## 第6章 日常生活圏域高齢者ニーズ調査の結果

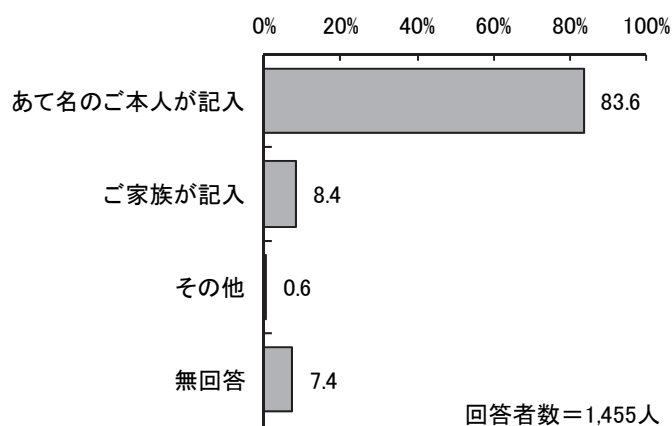
### I 回答者の属性

#### 1 調査の回答者

問1 調査票を記入されたのはどなたですか。(1つに○)

調査の回答者は、「あて名のご本人が記入」が83.6%を占めている。

図表6-1 調査の回答者

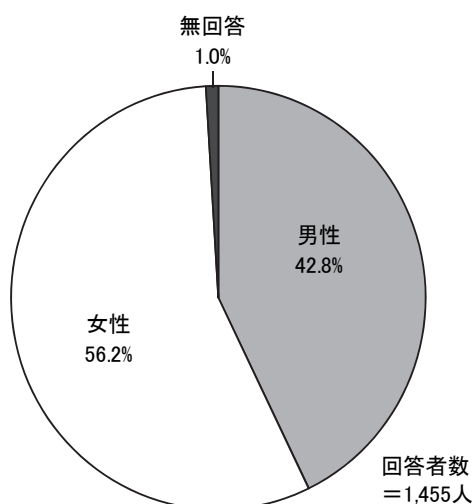


#### 2 性別と年齢

問2 あなた(あて名のご本人)の性別と、平成25年9月1日現在の満年齢をお答えください。

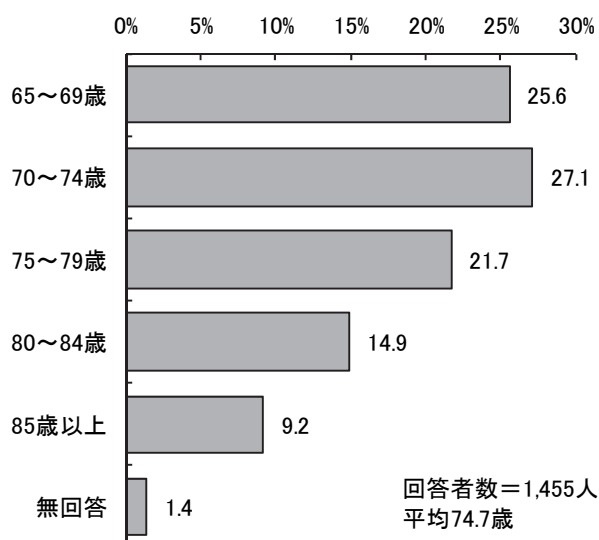
性別は、「男性」42.8%、「女性」56.2%と、「女性」が「男性」を13.4ポイント上回っている。

図表6-2 性別



年齢は、「70～74 歳」27.1%、「65～69 歳」25.6%、「75～79 歳」21.7%の順であり、平均 74.7 歳となっている。

図表6-3 年齢

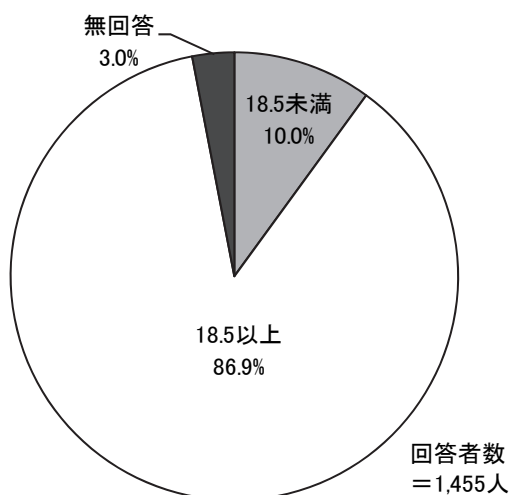


### 3 身長と体重

問3 あなた(あて名のご本人)の身長と体重を記入してください。

身長と体重から算出したBMIをみると、低栄養の可能性のある「18.5未満」の人の割合は10.0%となっている。

図表6-4 BMI

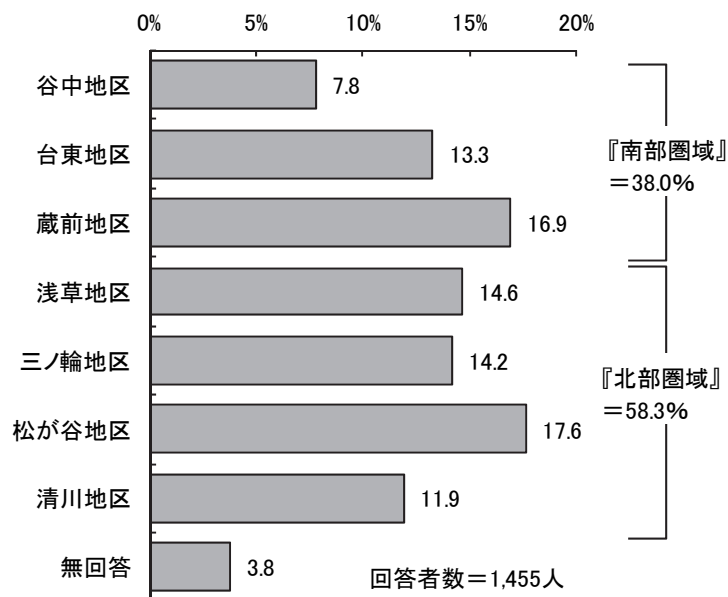


## 4 居住地域

問4 お住まいはどこですか。記入例を参考に記入してください。丁目がない場合は、町名だけ記入してください。

居住地域は、「谷中地区」、「台東地区」、「蔵前地区」をあわせた“南部圏域”が38.0%、「浅草地区」、「三ノ輪地区」、「松が谷地区」、「清川地区」をあわせた“北部圏域”は58.3%となっている。

図表6-5 居住地域



※ 『南部圏域』 = 「谷中地区」 + 「台東地区」 + 「蔵前地区」

※ 『北部圏域』 = 「浅草地区」 + 「三ノ輪地区」 + 「松が谷地区」 + 「清川地区」

※ 圏域は4ページの「居住地域区分」を参照。

## 5 家族構成

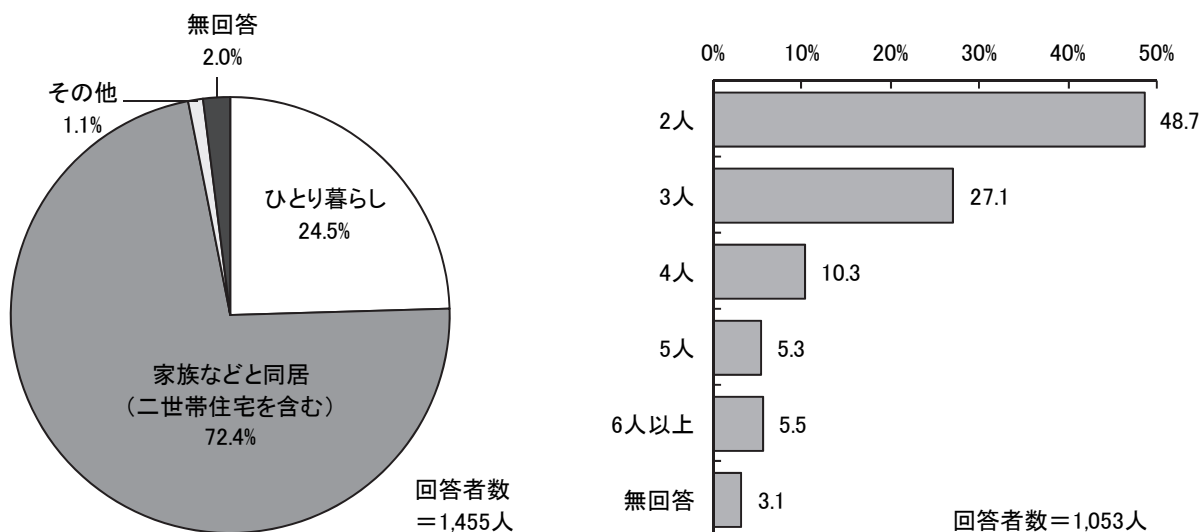
問 5 家族構成を教えてください。(1つに○)

問 5-1 問 5 で「家族など同居(二世帯住宅を含む)に○をした方におうかがいします。ご自分を含めて何人で暮らしていますか。

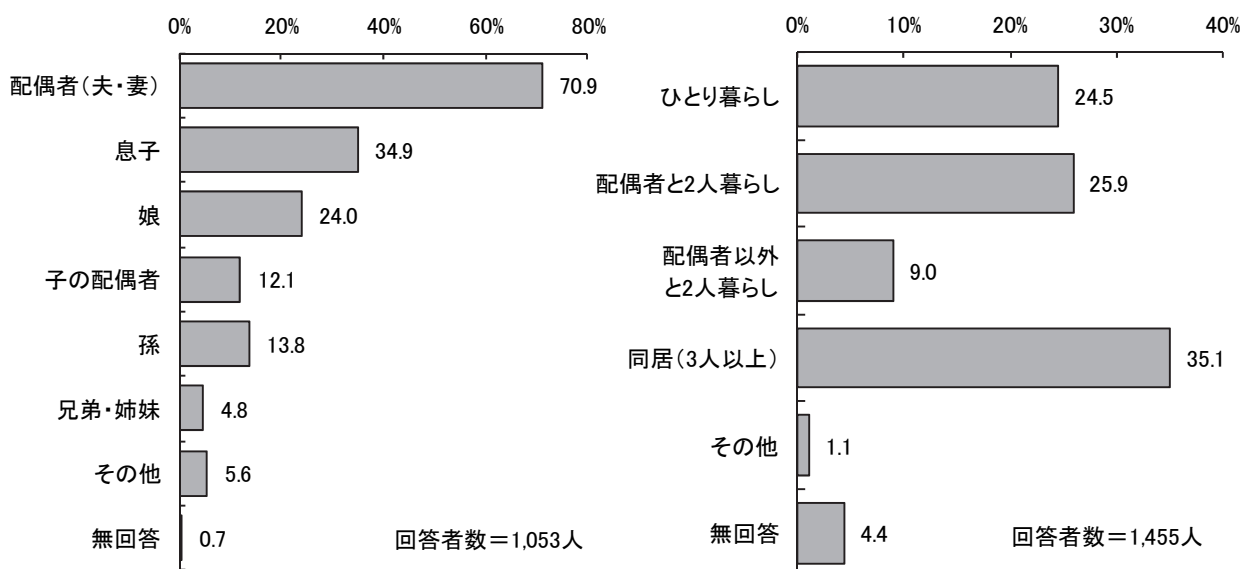
問 5-2 問 5 で「家族など同居(二世帯住宅を含む)に○をした方におうかがいします。同居されている方はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

家族構成は、「ひとり暮らし」が 24.5%と約 4 人に 1 人の割合であり、「家族など同居(二世帯住宅を含む)」が 72.4%を占めている。家族など同居の人の同居者数は、「2人」が 48.7%と半数近くを占め、同居者は、「配偶者(夫・妻)」70.9%、「息子」34.9%、「娘」24.0%の順となっている。これらを組み合わせた家族構成は、「ひとり暮らし」が 24.5%、「配偶者と 2 人暮らし」が 25.9%、「同居(3人以上)」が 35.1%となっている。

図表6-6 家族構成／同居者数



図表6-7 同居者(複数回答)／家族構成(再類型)

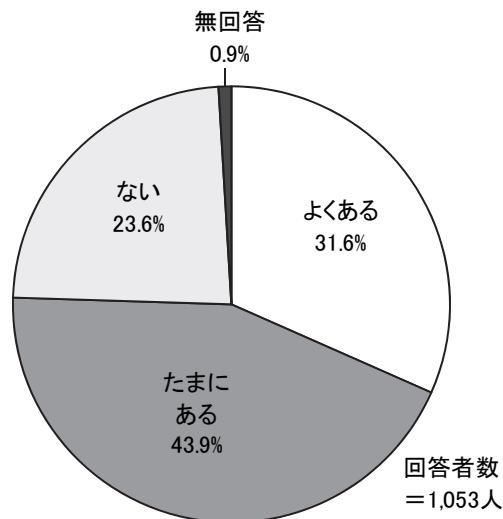


## 6 日中独居の状況

問 5-3 問 5 で「家族などと同居(二世帯住宅を含む)に○をした方におうかがいします。日中、一人になることがありますか。(1つに○)

家族などと同居の人の日中独居の状況をみると、日中一人で過ごすことが「たまにある」と回答した人は43.9%、「よくある」は31.6%「ない」は23.6%となっている。

図表6-8 日中独居の状況

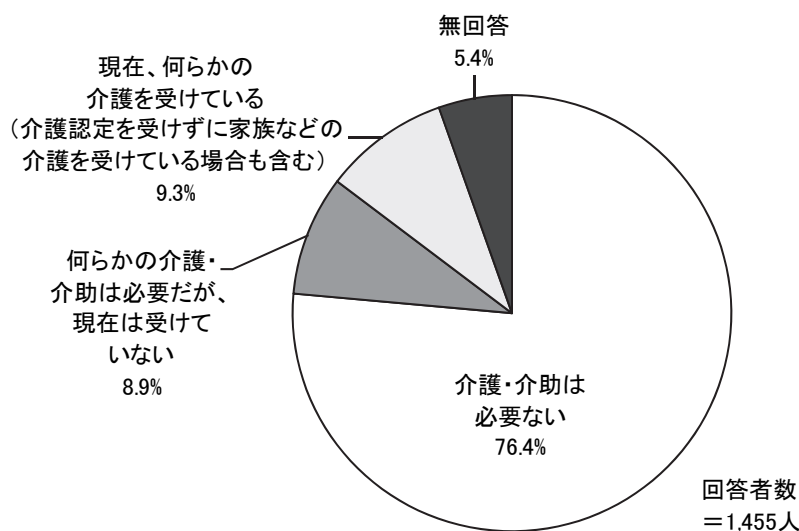


## 7 介護・介助の必要性

問 6 あなたは、ふだんの生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つに○)

介護・介助の必要性は、「介護・介助は必要ない」が76.4%を占めており、「現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」9.3%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」8.9%となっている。

図表6-9 介護・介助の必要性

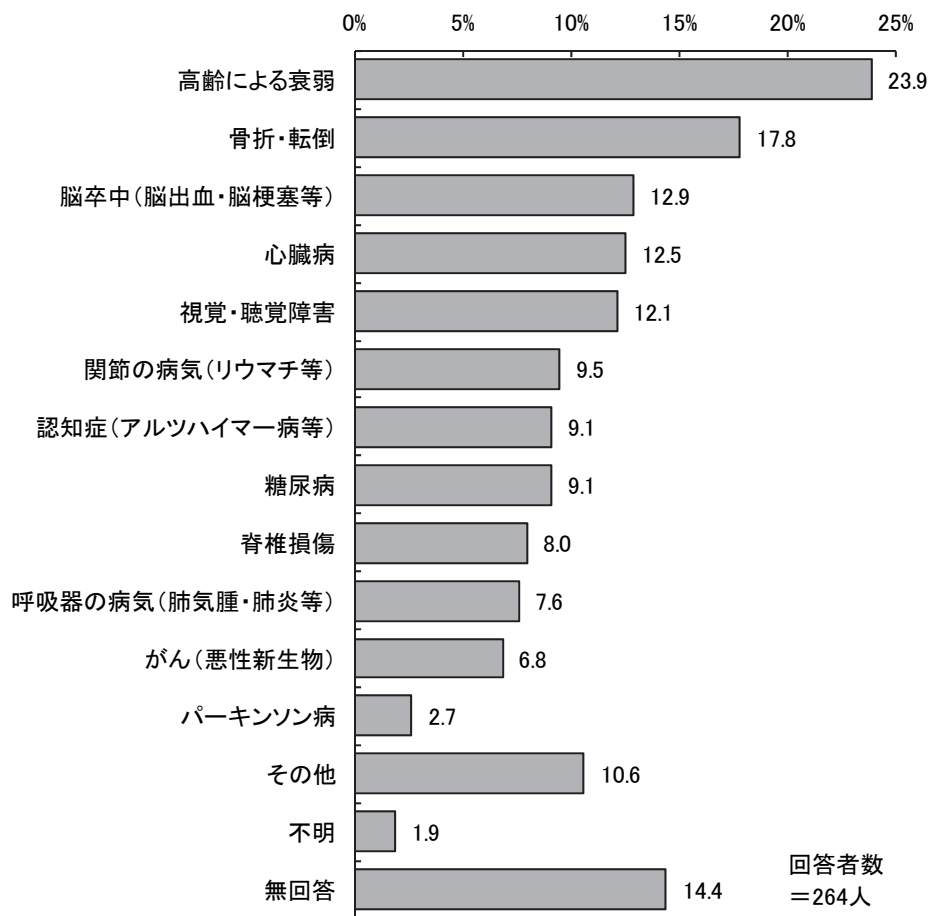


## 8 介護・介助が必要となった原因

問 6-1 問 6 で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」に○をした方におうかがいします。介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

介護・介助が必要となった原因は、「高齢による衰弱」23.9%、「骨折・転倒」17.8%、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」12.9%が上位3項目となっている。

図表6-10 介護・介助が必要となった原因（複数回答）



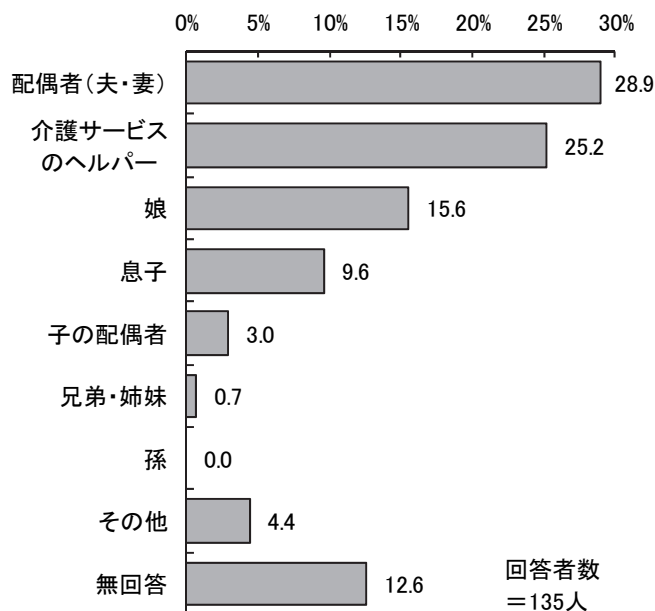
## 9 主な介護・介助者

- 問 6-2 問 6 で「現在、何らかの介護・介助を受けている」に○をした方におうかがいします。主にどなたの介護・介助を受けていますか。(1つに○)
- 問 6-3 問 6 で「現在、何らかの介護・介助を受けている」に○をした方におうかがいします。主に介護・介助をしている方の年齢は、次のどれですか。(1つに○)

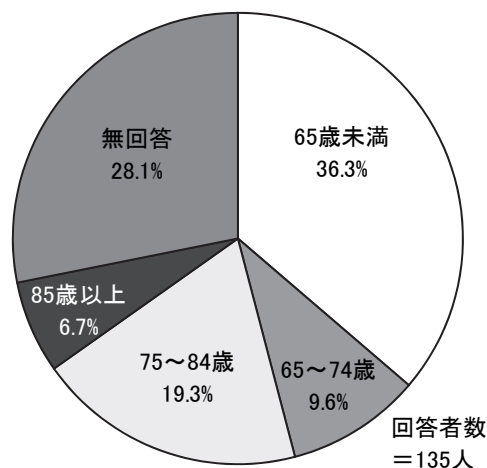
主な介護・介助者は、「配偶者（夫・妻）」28.9%に次いで「介護サービスのヘルパー」25.2%、「娘」15.6%などとなっている。

主な介護・介助者の年齢は、「65歳未満」36.3%、「75～84歳」19.3%、「65～74歳」9.6%、「85歳以上」6.7%となっている。

図表6-11 主な介護・介助者



図表6-12 主な介護・介助者の年齢

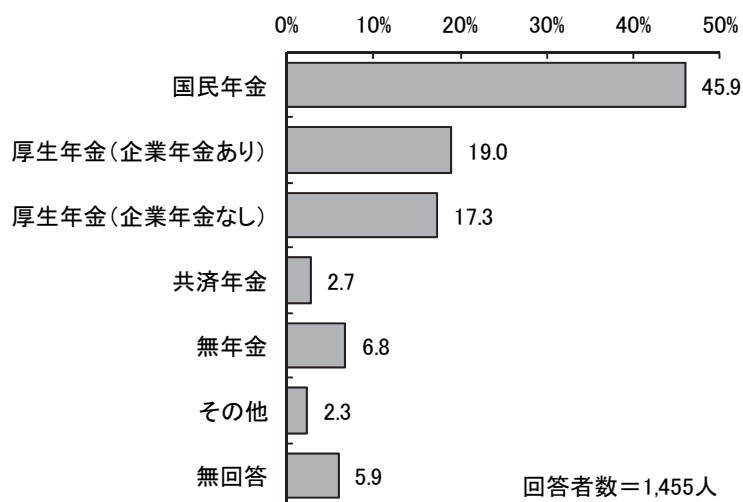


## 10 年金の種類

問7 年金の種類は次のどれですか。(1つに○)

年金の種類は、「国民年金」が45.9%と半数近くを占めている。次いで「厚生年金（企業年金あり）」19.0%、「厚生年金（企業年金なし）」17.3%などとなっている。

図表6-13 年金の種類

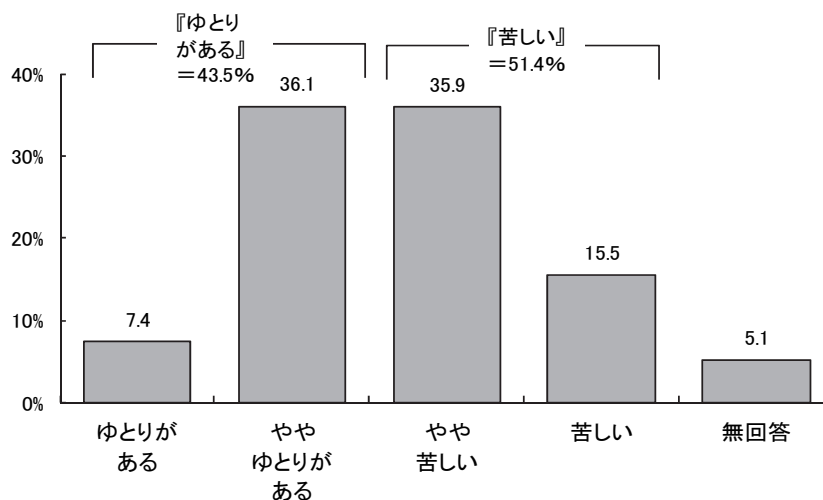


## 11 暮らし向き

問8 経済的にみて、現在の暮らしの状況をどう感じていますか。(1つに○)

暮らし向きは、「ややゆとりがある」36.1%、「ゆとりがある」7.4%をあわせた“ゆとりがある”と回答した人は43.5%、「苦しい」15.5%、「やや苦しい」35.9%をあわせた“苦しい”と回答した人が51.4%となっている。

図表6-14 暮らし向き



※ 『ゆとりがある』 = 「ややゆとりがある」 + 「ゆとりがある」

※ 『苦しい』 = 「やや苦しい」 + 「苦しい」



## 1 2 住宅形態

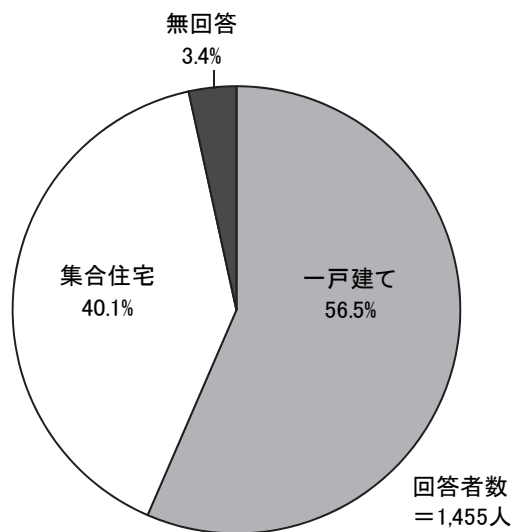
問 9 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(1つに○)

問 10 お住まいは、次のどれにあたりますか。(1つに○)

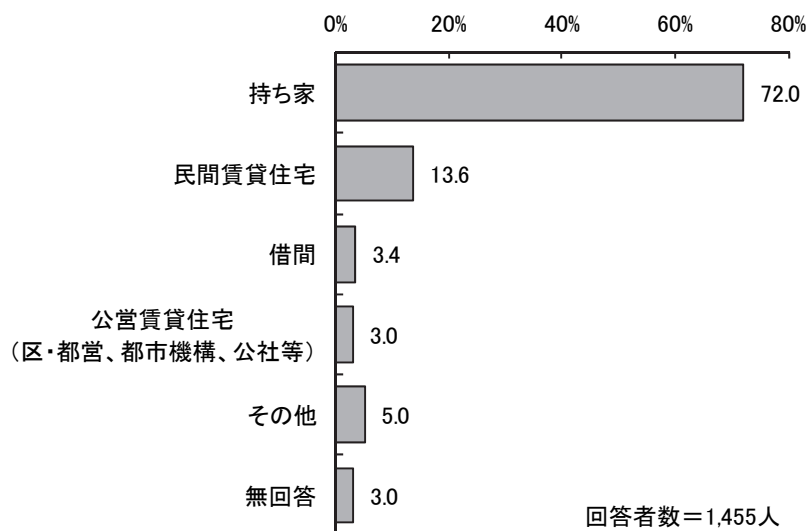
住宅の種類は、「一戸建て」56.5%、「集合住宅」40.1%となっている。

住宅形態は、「持ち家」が72.0%を占め、次いで「民間賃貸住宅」13.6%となっている。

図表6-15 住宅の種類



図表6-16 住宅形態



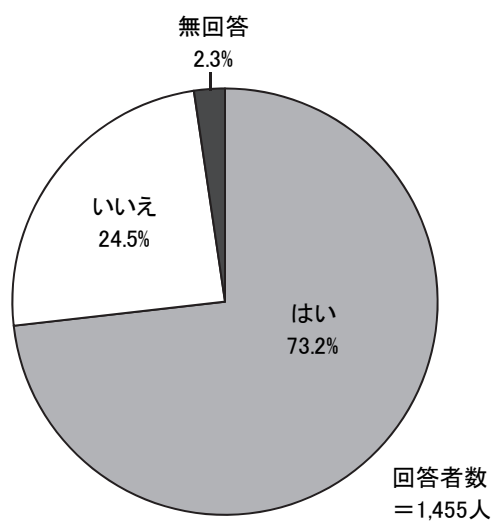
### 13 住まいの階数とエレベーターの有無

問 11 お住まい(主に生活する部屋)は2階以上にありますか。(1つに○)

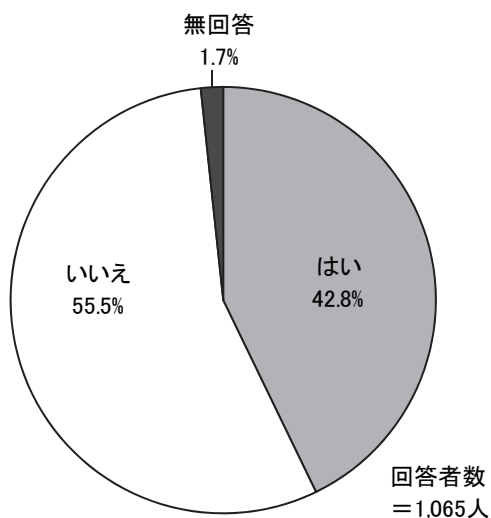
問 11-1 問 11 で「はい」に○をつけた方におうかがいします。お住まいにエレベーターは設置されていますか。(1つに○)

住まいの階数は、2階以上に居住している(「はい」と回答)人が73.2%を占めている。  
2階以上に居住している人のエレベーターの有無については、ない(「いいえ」と回答)人が55.5%と、ある(「はい」と回答)人42.8%を上回っている。

図表6-17 住まいの階数



図表6-18 エレベーターの有無



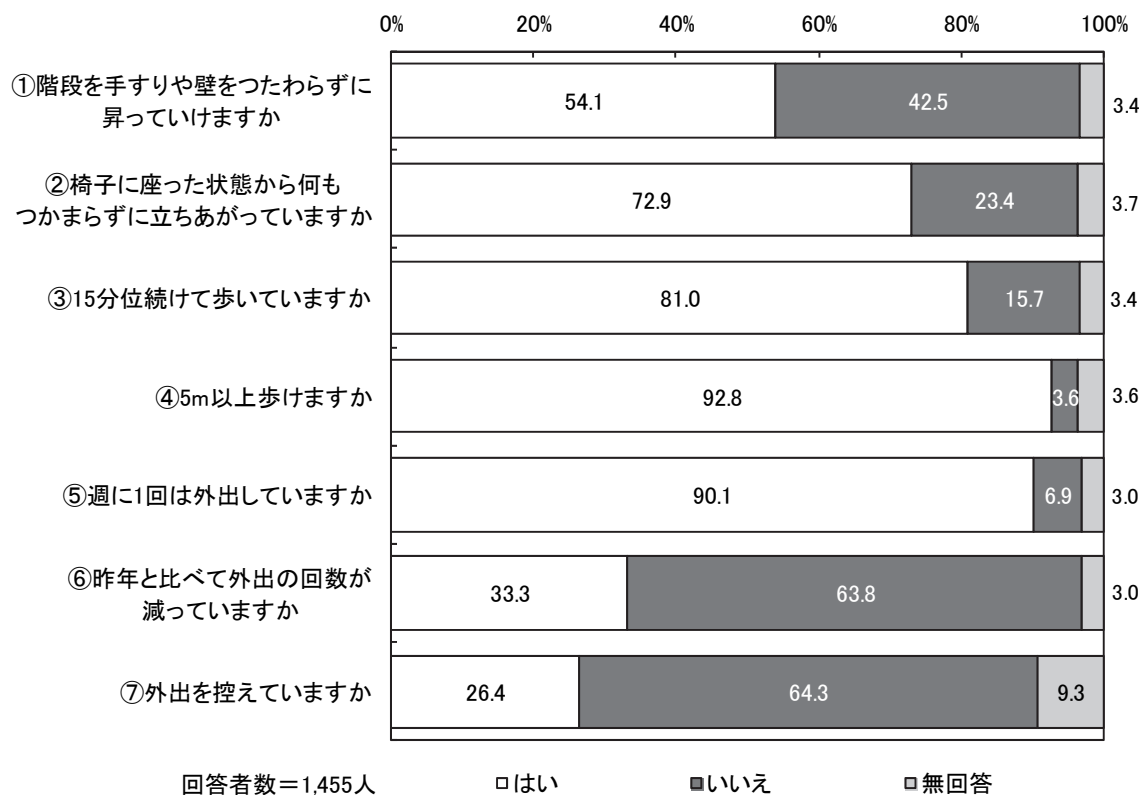
## II 運動・閉じこもりについて

### 1 運動・閉じこもりの状況

問 12 次の①～⑦について、それぞれあてはまるもの1つに○をしてください。

運動・閉じこもりの状況をみると、④5m以上歩くことのできる人、⑤週に1回は外出する人はともに9割を超え、③15分位続けて歩いている人は81.0%、②椅子に座った状態から何もつかまらずに立ちあがる人は72.9%となっている。一方、①階段を手すりや壁をつたわずに昇ることができる人は54.1%であり、他項目に比べて低い割合となっている。また、⑥昨年と比べて外出の回数が減っている人は33.3%、⑦外出を控えている人は26.4%となっている。

図表6-19 運動・閉じこもりの状況

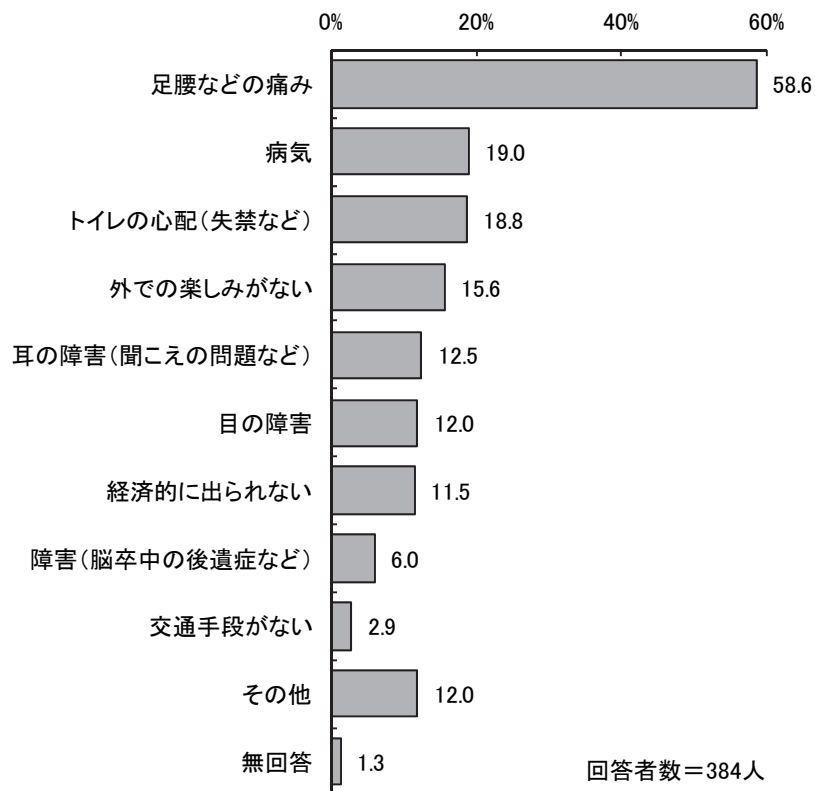


## 2 外出を控えている理由

問12⑦-1 問12⑦で「はい」に○をつけた方におうかがいします。外出を控えている理由は、次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)

外出を控えている理由は、「足腰などの痛み」が58.6%ともっとも高く、次いで「病気」19.0%、「トイレの心配(失禁など)」18.8%、「外での楽しみがない」15.6%、「耳の障害(聞こえの問題など)」12.5%などとなっている。

図表6-20 外出を控えている理由(複数回答)



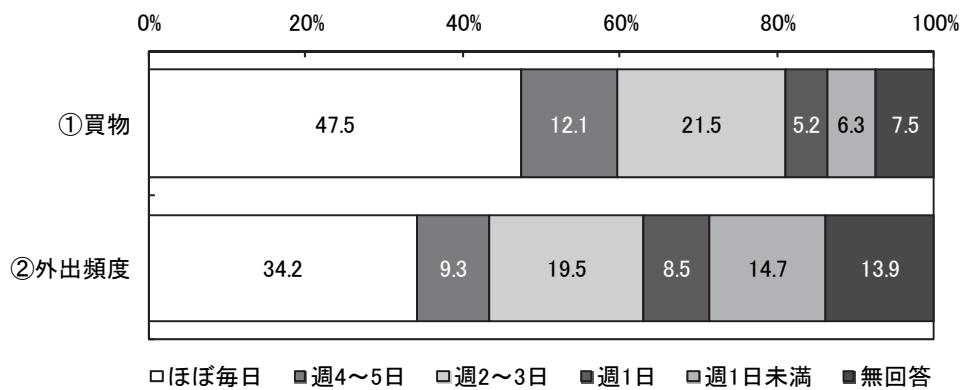
### 3 外出頻度

問13 買物、散歩で外出する頻度はそれぞれどのくらいですか。

①買物による外出頻度は、「ほぼ毎日」が47.5%と半数近く、「週1日未満」は6.3%となっている。

②散歩による外出頻度は、「ほぼ毎日」が34.2%であり、「週1日未満」は14.7%となっている。

図表6-21 外出頻度

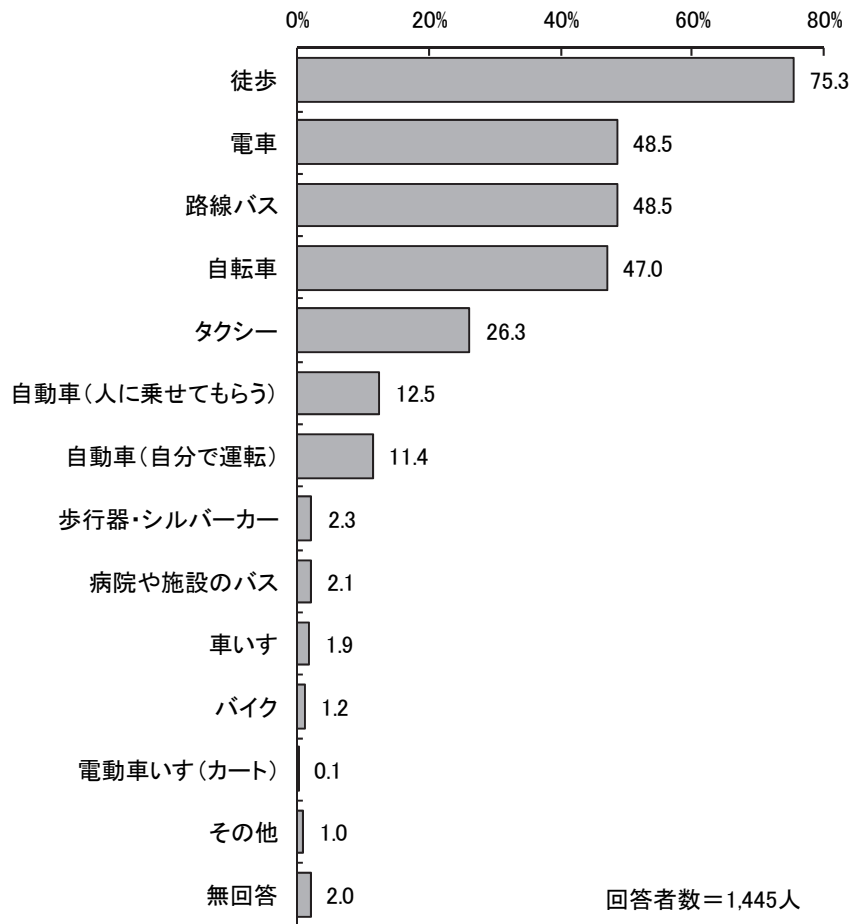


#### 4 外出する際の移動手段

問 14 外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

外出する際の移動手段は、「徒歩」75.3%に次いで、「電車」、「路線バス」といった公共交通機関が48.5%、「自転車」が47.0%などとなっている。

図表6-22 外出する際の移動手段(複数回答)



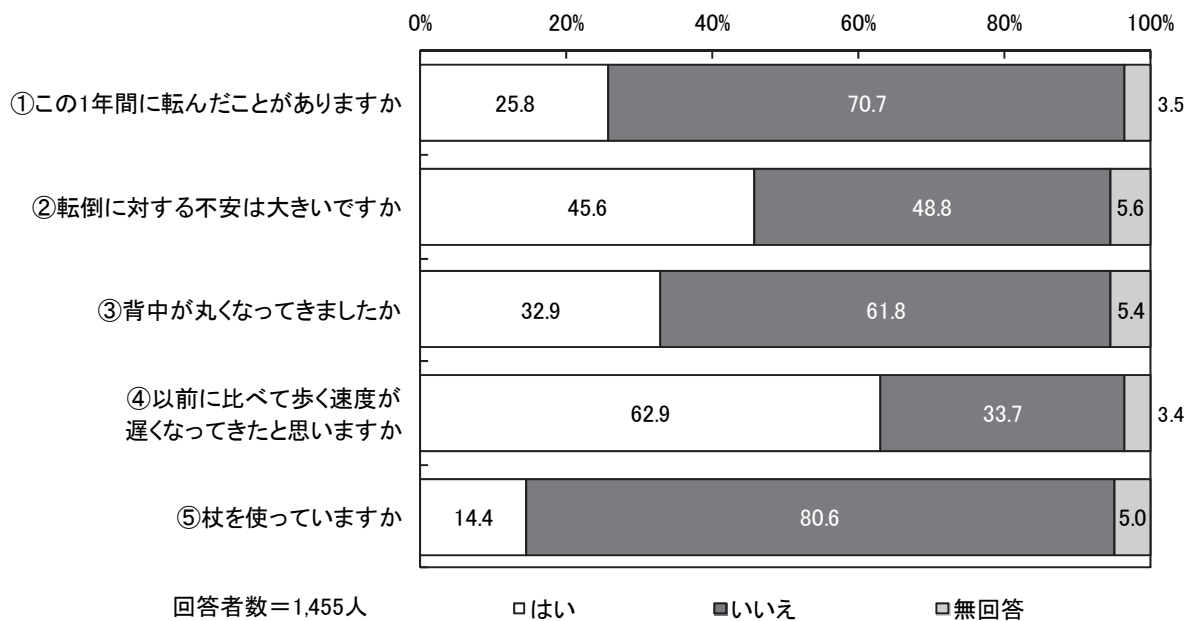
### Ⅲ 転倒について

#### 1 転倒の状況

問 15 次の①～⑤について、それぞれあてはまるもの1つに○をしてください。

転倒の状況をみると、①この1年間に転んだことがある人は25.8%、②転倒に対する不安が大きい人は45.6%となっている。また、③背中が丸くなってきた人は32.9%、④以前に比べて歩く速度が遅くなってきた人は62.9%、⑤杖を使っている人は14.4%となっている。

図表6-23 転倒の状況



## IV 栄養・口腔について

### 1 栄養・口腔の状況

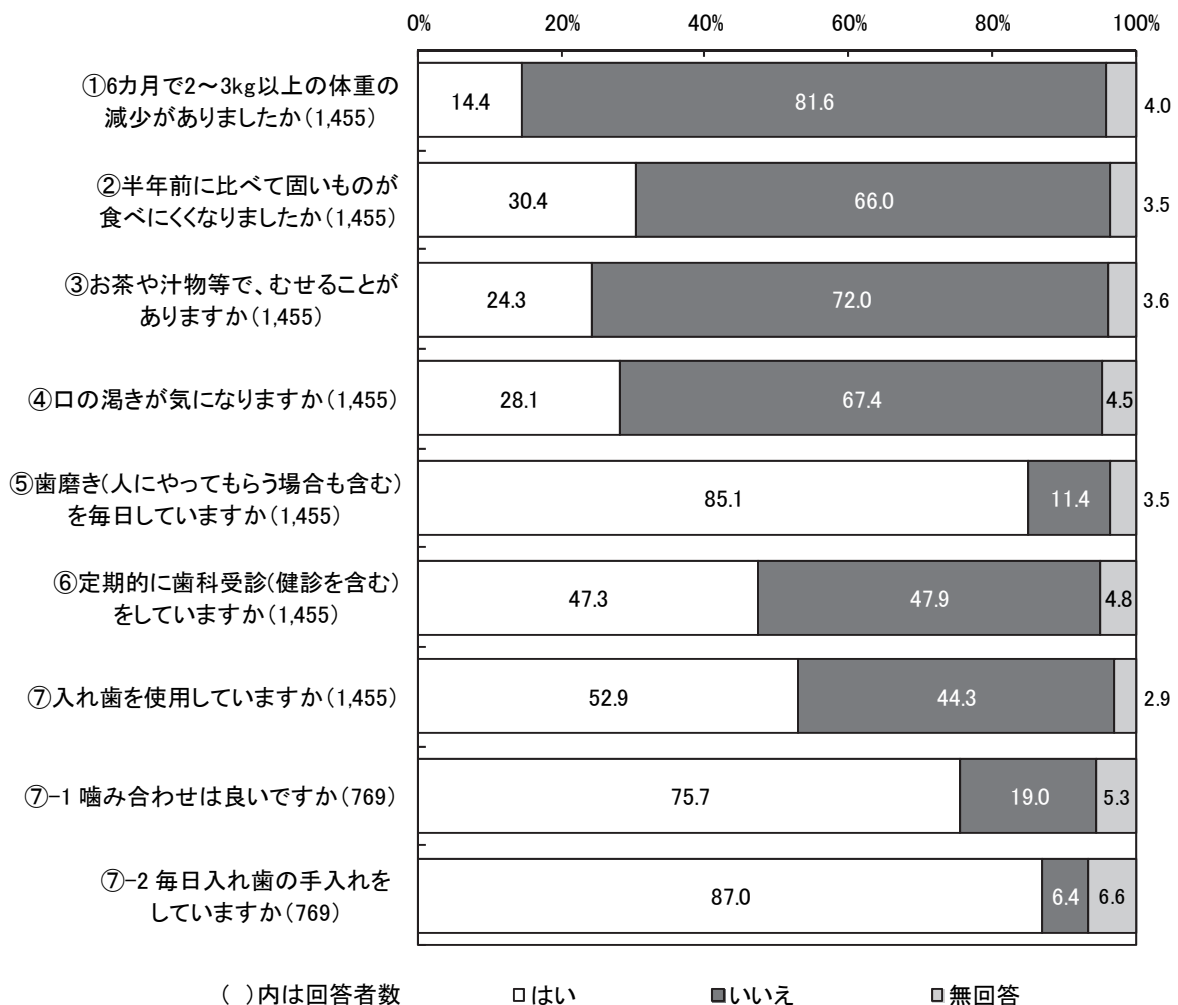
問 16 次の①～⑦について、それぞれあてはまるもの1つに○をしてください。

栄養の状況をみると、①6カ月で2～3kg以上の体重の減少があった人は14.4%となっている。

口腔については、②半年前に比べて固いものが食べにくくなった人が30.4%、③お茶や汁物等でむせることがある人、及び④口の渇きが気になる人はそれぞれ2割を超えている。

また、⑤歯磨きを毎日している人は85.1%、⑥定期的に歯科受診(健診を含む)をしている人は47.3%、⑦入れ歯を使用している人は52.9%であり、入れ歯の人の75.7%は噛み合わせは良い、87.0%は毎日手入れをしていると回答している。

図表6-24 栄養・口腔の状況



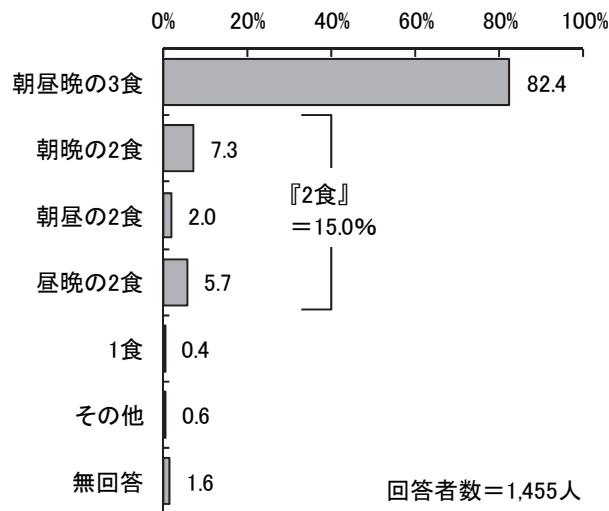


## 2 食事回数

問 17 1日の食事の回数は何回ですか。(1つに○)

食事回数は、「朝昼晩の3食」が82.4%を占めている。「朝晩の2食」、「朝昼の2食」、「昼晩の2食」をあわせた“2食”の人は15.0%となっている。

図表6-25 食事回数

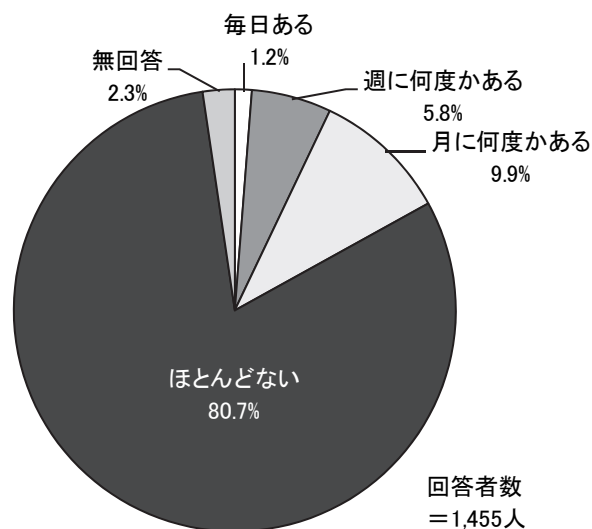


## 3 食事を抜く頻度

問 18 食事を抜くことがありますか。(1つに○)

食事を抜く頻度は、「ほとんどない」が80.7%を占めている。「毎日ある」1.2%、「週に何度かある」5.8%、「月に何度かある」9.9%をあわせた食事を抜くことがある人は16.9%となっている。

図表6-26 食事を抜く頻度



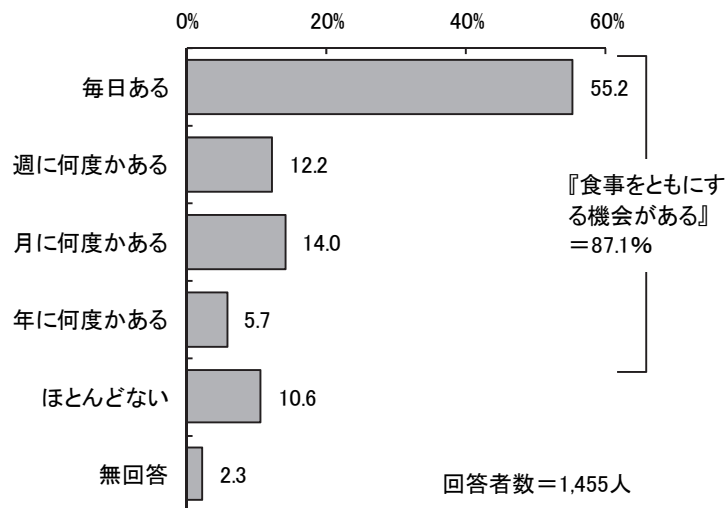
#### 4 誰かと食事をとる機会の有無

問 19 自分一人でなく、どなたかと食事をとる機会がありますか。(1つに○)  
 問 19-1 問 19 で「毎日ある」「週に何度かある」「月に何度かある」「年に何度かある」に○  
 をつけた方におうかがいします。食事をとる人はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

誰かと食事をとる機会は、「毎日ある」が55.2%を占めている。これに「週に何度かある」12.2%、「月に何度かある」14.0%、「年に何度かある」5.7%をあわせた87.1%の人が“食事をとる機会がある”一方、10.6%の人が「ほとんどない」と回答している。

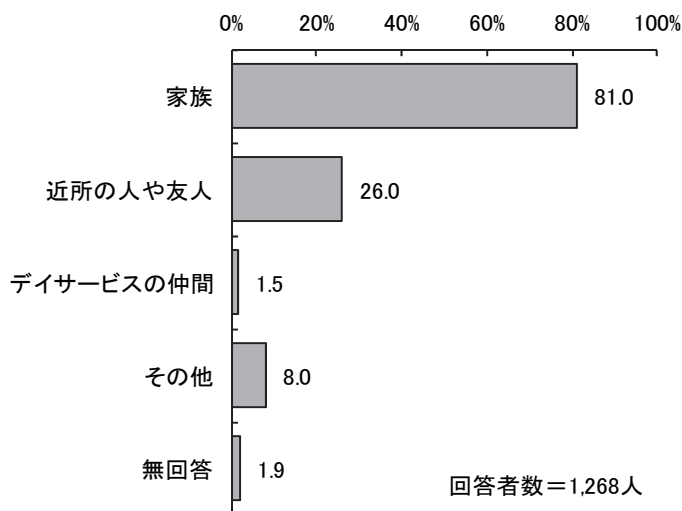
食事をとる機会がある人が食事をとる人は、「家族」が81.0%であり、その他「近所の人や友人」26.0%、「デイサービスの仲間」1.5%などとなっている。

図表6-27 誰かと食事をとる機会の有無



※ 『食事をとる機会がある』 = 「毎日ある」 + 「週に何度かある」 + 「月に何度かある」 + 「年に何度かある」

図表6-28 食事をとる人(複数回答)



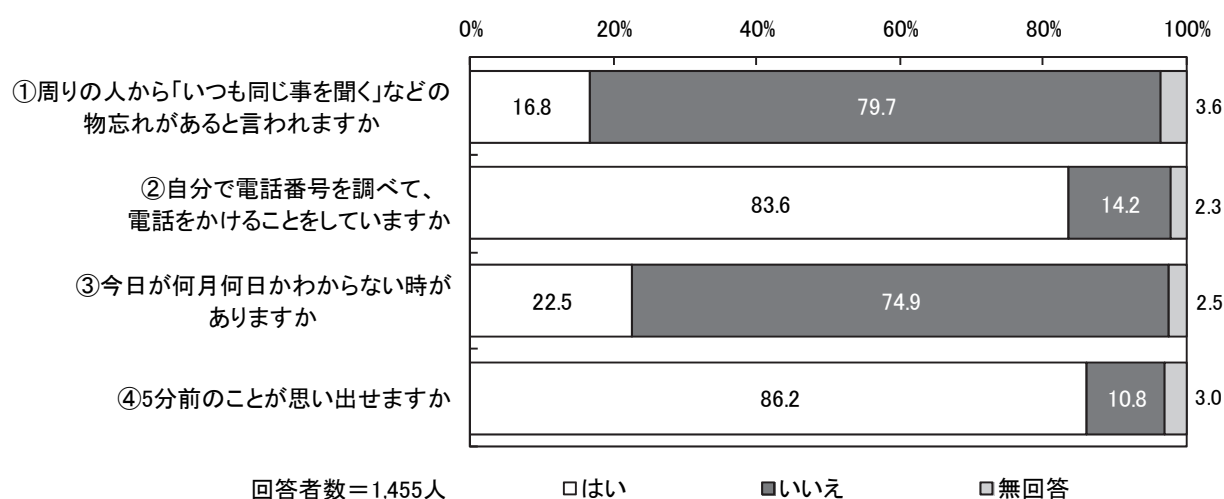
## V 物忘れ・うつについて

### 1 物忘れの状況

問 20 次の①～④について、それぞれあてはまるもの1つに○をしてください。

物忘れの状況をみると、②自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしている人は83.6%、④5分前のことが思い出せる人は86.2%となっている。また、①周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとと言われる人は16.8%、③今日が何月何日かわからない時がある人は22.5%となっている。

図表6-29 物忘れの状況



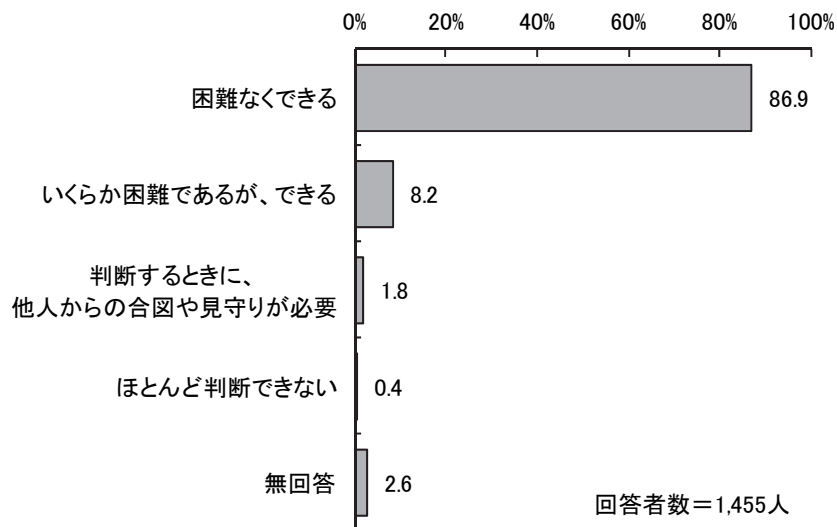
## 2 その日の活動の判断、意思の伝達の可否

問 21 その日の活動(食事をする、衣服を選ぶなど)を自分で判断できますか。(1つに○)  
問 22 人に自分の考えをうまく伝えられますか。(1つに○)

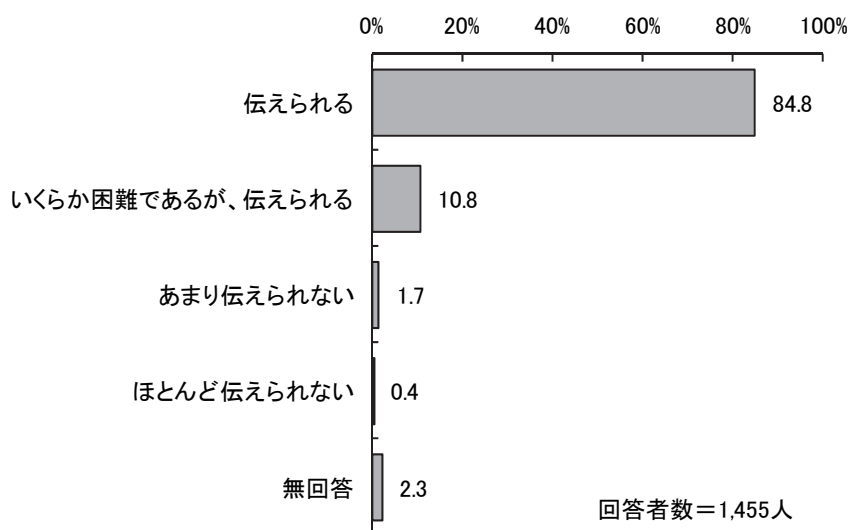
その日の活動の判断については、「困難なくできる」と回答した人が 86.9%となっている。

意思の伝達については、「伝えられる」と回答した人が 84.8%となっている。

図表6-30 その日の活動の判断の可否



図表6-31 意思の伝達の可否



## VI 日常生活について

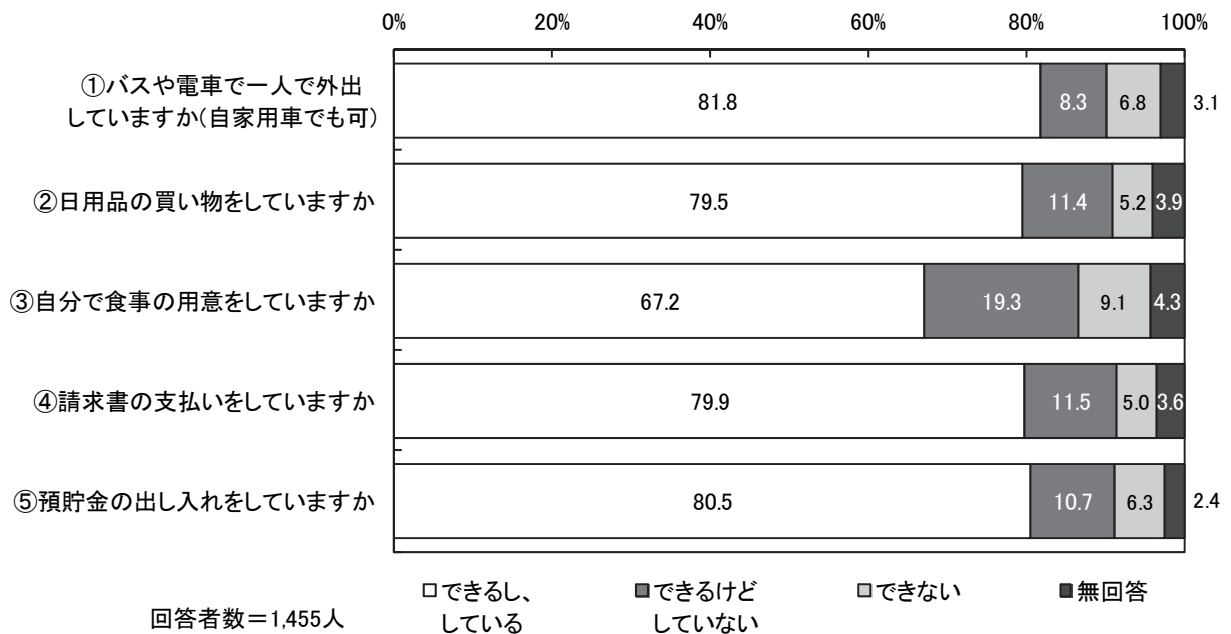
### 1 日常生活の状況

問 23 次の①～⑦について、それぞれあてはまるもの1つに○をしてください。

#### (1) IADL(手段的日常生活動作)の自立度

交通機関の利用、家事、金銭管理など、日常生活を送るために必要な比較的高次の動作（手段的日常生活動作：IADL）に関する①～⑤の自立度をみると、①バスや電車での外出、⑤預貯金の出し入れ、④請求書の支払い、②日用品の買い物については、それぞれ約8割が「できるし、している」と回答している。③食事の用意に関しては、他の項目に比べて自立度が低く、「できるし、している」は67.2%となっている。

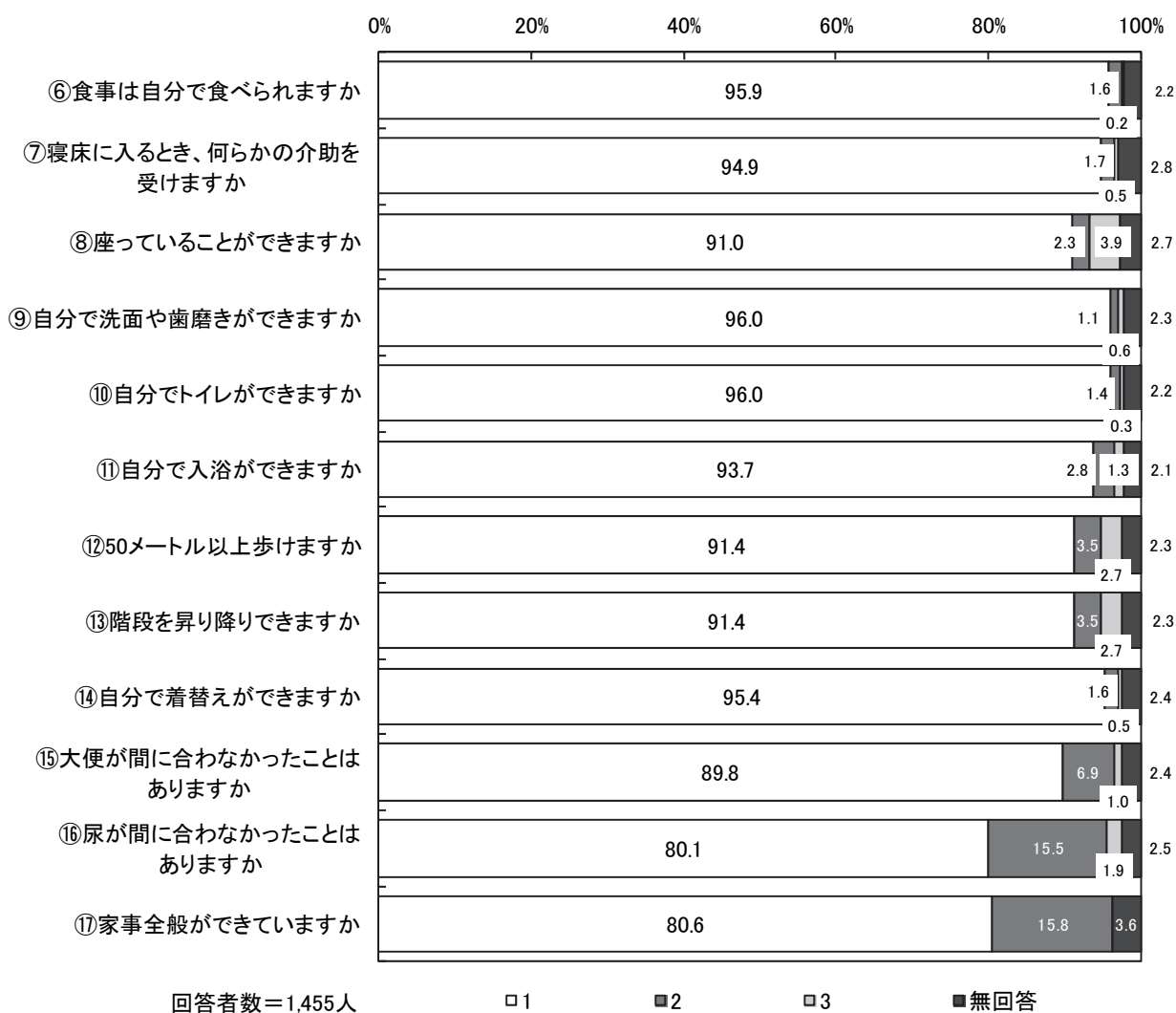
図表6-32 IADL(手段的日常生活動作)の自立度



## (2)ADL(日常生活動作)の自立度

食事、移動、整容、トイレ動作、入浴など、日常生活を送るために必要な基本的な身体動作（日常生活動作：ADL）の自立度をみると、⑥～⑭についてはいずれも9割以上が「できる」と回答している。また、⑮大便、⑯小便が間に合わなかったことがない人、⑰家事全般ができています人は8割を超えている。

図表6-33 ADL(日常生活動作)の自立度



※ ⑥・⑦及び⑨～⑫の選択肢は、「1. できる」「2. 一部介助があればできる」「3. できない」

※ ⑧の選択肢は、「1. できる」「2. 支えが必要」「3. できない」

※ ⑬・⑭「1. できる」「2. 介助があればできる」「3. できない」

※ ⑮・⑯「1. ない」「2. ときどきある」「3. よくある」

※ ⑰の選択肢は、「1. できている」「2. できていない」

## 2 日用品の買物、食事の用意をする人

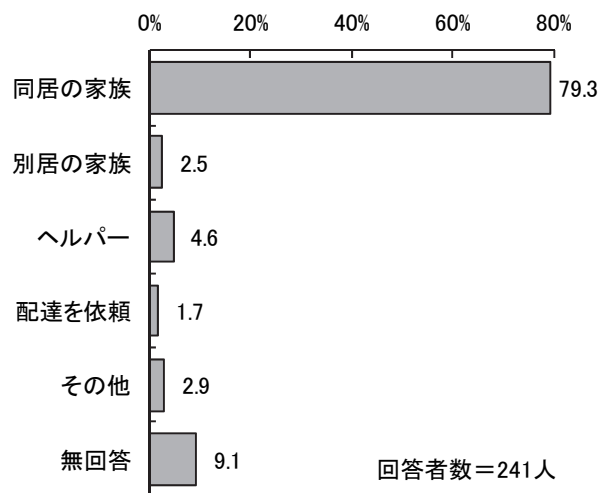
問 23②-1 問 23②で「できるけどしていない」「できない」に○をした方におうかがいします。日用品の買物をする人は主にどなたですか。(1つに○)

問 23③-1 問 23③で「できるけどしていない」「できない」に○をした方におうかがいします。食事の用意をする人は主にどなたですか。(1つに○)

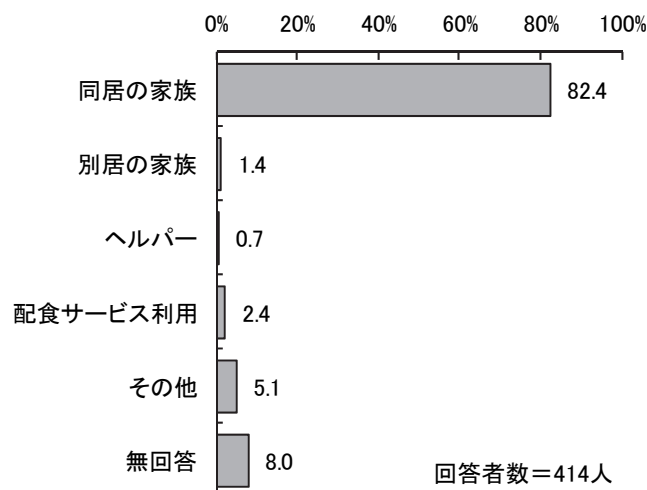
買物を「できるけどしていない」または「できない」人について、主に日用品の買物をする人は、「同居の家族」が79.3%を占めており、「ヘルパー」は4.6%、「配達を依頼」は1.7%となっている。

また、食事の用意を「できるけどしていない」または「できない」人について、主に食事の用意をする人は、「同居の家族」が82.4%を占めており、「配食サービス利用」は2.4%、「ヘルパー」は0.7%となっている。

図表6-34 日用品の買物をする人



図表6-35 食事の用意をする人



## VII 社会参加について

### 1 社会参加の状況

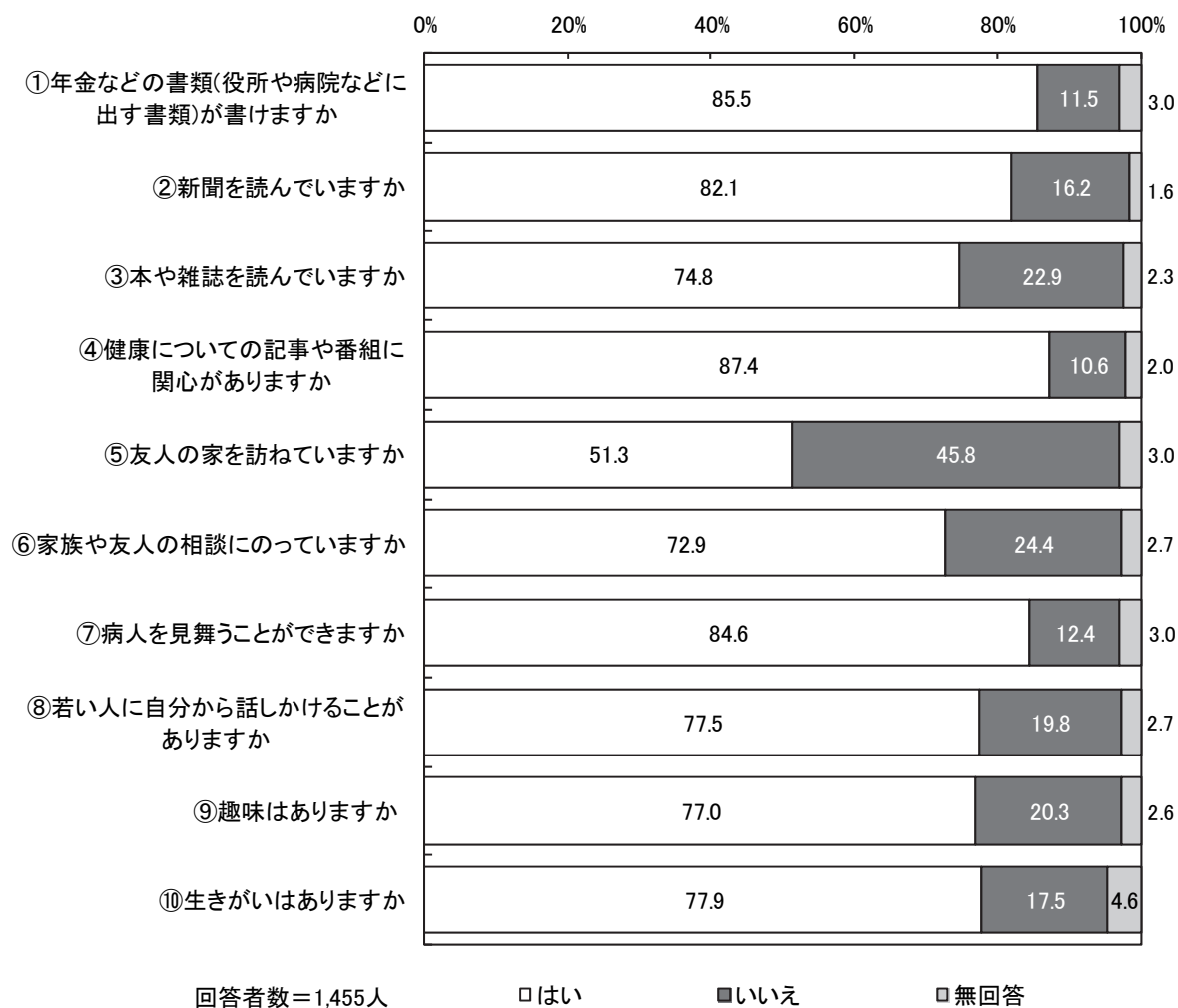
問 24 次の①～⑩について、それぞれあてはまるもの1つに○をしてください。

余暇や創作など生活を楽しむ能力（知的能動性）に関する①～④の回答状況をみると、①年金などの書類が書ける、②新聞を読んでいる、④健康についての記事や番組に関心がある人はいずれも8割を超え、③本や雑誌を読んでいる人は74.8%となっている。

地域で社会的な役割をはたす能力（社会的役割）に関する⑤～⑧については、⑦病人を見舞うことができる人は84.6%、⑥家族や友人の相談にのっている、⑧若い人に自分から話しかけることがある人は7割を超えているものの、⑤友人の家を訪ねている人は51.3%と他に比べて低い割合となっている。

また、⑩生きがい、⑨趣味がある人は、ともに7割を超えている。

図表6-36 社会参加の状況





## 2 グループ活動の参加頻度

問 25 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

グループ活動について、「週 4 回以上」、「週 2～3 回」、「週 1 回」、「月 1～3 回」、「年に数回」をあわせた“参加している”人の割合は、①ボランティアのグループが 17.1%、②スポーツ関係のグループやクラブが 24.0%、③趣味関係のグループが 35.6%、④老人クラブが 11.8%、⑤町内会・自治会が 25.3%、⑥学習・教養サークルが 13.9%、⑦その他の団体や会が 24.1%となっている。

図表6-37 グループ活動の参加頻度

	回答者数(人)	週 4 回以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年に数回	参加していない	無回答	『参加している』
①ボランティアのグループ	1,455	1.2	2.9	2.3	5.5	5.2	75.3	7.6	17.1
②スポーツ関係のグループやクラブ	1,455	3.0	6.3	6.1	5.2	3.4	69.8	6.3	24.0
③趣味関係のグループ	1,455	2.0	6.1	7.7	13.3	6.5	59.2	5.2	35.6
④老人クラブ	1,455	0.6	1.0	1.2	4.1	4.9	82.0	6.1	11.8
⑤町内会・自治会	1,455	0.2	1.0	0.8	9.3	14.0	69.0	5.6	25.3
⑥学習・教養サークル	1,455	0.3	1.2	1.8	6.1	4.5	80.0	6.0	13.9
⑦その他の団体や会	1,455	1.2	2.5	3.2	8.2	9.0	69.8	6.1	24.1

※ 『参加している』 = 「週 4 回以上」 + 「週 2～3 回」 + 「週 1 回」 + 「月 1～3 回」 + 「年に数回」

### 3 社会参加活動や仕事の活動頻度

問 26 以下のような活動(社会参加活動や仕事)をどのくらいの頻度でしていますか。

社会参加活動や仕事について、「週 4 回以上」、「週 2～3 回」、「週 1 回」、「月 1～3 回」、「年に数回」をあわせた“活動している”人の割合は、①見守りが必要な高齢者を支援する活動が 6.2%、②介護が必要な高齢者を支援する活動、及び③子どもを育てている親を支援する活動が各 4.5%、④地域の生活環境の改善(美化)活動が 10.7%、⑤収入のある仕事が 33.8%となっている。

図表6-38 社会参加活動や仕事の活動頻度

	回答者数(人)	週 4 回以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年に数回	していない	無回答	『活動している』
①見守りが必要な高齢者を支援する活動	1,455	0.7	0.7	1.0	1.5	2.3	87.3	6.5	6.2
②介護が必要な高齢者を支援する活動	1,455	0.5	0.8	0.5	1.0	1.7	88.9	6.5	4.5
③子どもを育てている親を支援する活動	1,455	0.9	0.8	0.4	0.8	1.6	86.7	8.8	4.5
④地域の生活環境の改善(美化)活動	1,455	0.5	0.3	1.3	2.2	6.4	80.8	8.4	10.7
⑤収入のある仕事	1,455	22.2	4.9	1.9	2.5	2.3	57.8	8.4	33.8

※ 『活動している』 = 「週 4 回以上」 + 「週 2～3 回」 + 「週 1 回」 + 「月 1～3 回」 + 「年に数回」

#### 4 まわりの人とのたすけあいの状況

問 27 あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。

まわりの人とのたすけあいの状況をみると、①心配事や愚痴を聞いてくれる人がいる人は86.2%、③病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人がいる人は82.6%となっている。また、②心配事や愚痴を聞いてあげる人がいる人は81.5%、④看病や世話をしてあげる人がいる人は67.7%となっている。

心配事や愚痴を聞いてくれる人及び聞いてあげる人は、配偶者及び友人が約4割となっている。また、看病や世話をしてくれる人は配偶者が47.1%、同居の子どもが29.2%、看病や世話をしてあげる人は配偶者が44.0%、同居の子どもが21.4%となっている。

図表6-39 まわりの人とのたすけあいの状況(各複数回答)

	回答者数(人)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答	『そのような人がいる』
①心配事や愚痴を聞いてくれる人	1,455	43.8	23.7	25.9	28.1	11.5	40.1	4.2	8.6	5.2	86.2
②心配事や愚痴を聞いてあげる人	1,455	39.0	20.1	23.0	28.9	14.0	41.9	3.2	12.2	6.3	81.5
③病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人	1,455	47.1	29.2	24.9	15.9	3.0	7.1	4.1	12.0	5.4	82.6
④看病や世話をしてあげる人	1,455	44.0	21.4	16.4	18.9	3.2	7.8	2.4	23.9	8.4	67.7

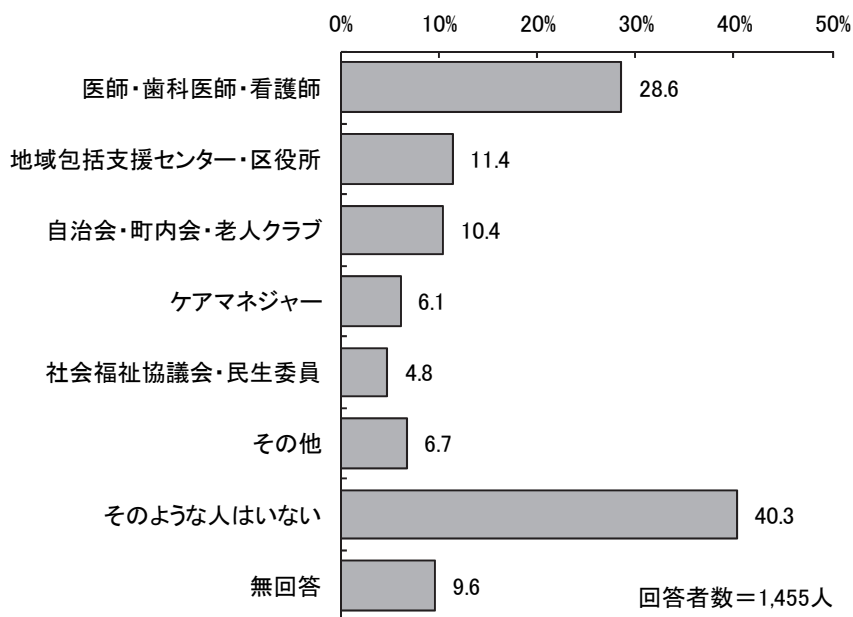
※ 『そのような人がいる』 = 100% - 「そのような人はいない」 - 「無回答」

## 5 家族・友人・知人以外の相談相手

問 28 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。  
(あてはまるものすべてに○)

家族・友人・知人以外の相談相手をみると、「そのような人はいない」と回答した人が40.3%ともっとも高くなっている。相談相手としては、「医師・歯科医師・看護師」28.6%、「地域包括支援センター・区役所」11.4%、「自治会・町内会・老人クラブ」10.4%などとなっている。

図表6-40 家族・友人・知人以外の相談相手(複数回答)



## 6 友人関係

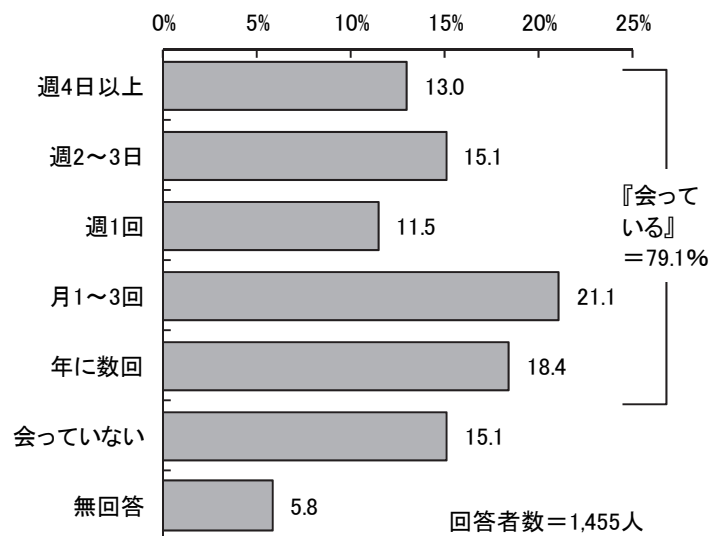
問 29 友人関係についておうかがいします。

- ①友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(1つに○)
- ②この1カ月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(1つに○)
- ③よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(あてはまるものすべてに○)

### (1) 友人・知人と会う頻度

友人・知人と会う頻度は、「月1～3回」21.1%、「年に数回」18.4%の順であり、「週4日以上」、「週2～3日」、「週1回」、「月1～3回」、「年に数回」をあわせた、「会っている」人の割合は79.1%、「会っていない」人は15.1%となっている。

図表6-41 友人・知人と会う頻度

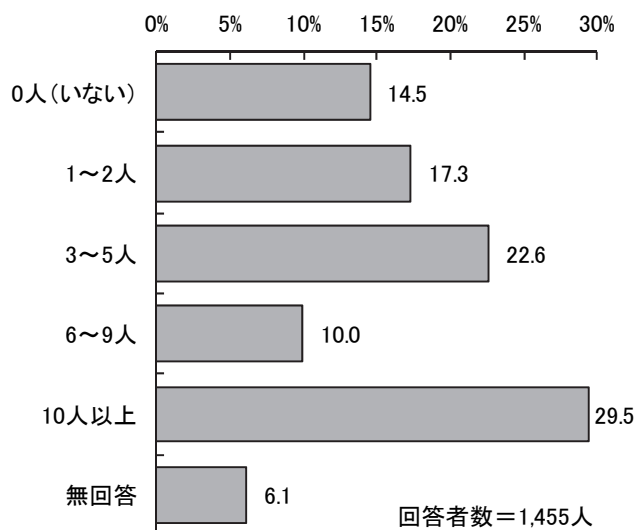


※ 『会っている』 = 「週4日以上」 + 「週2～3日」 + 「週1回」  
+ 「月1～3回」 + 「年に数回」

## (2) 友人・知人数

友人・知人数は、「10人以上」29.5%がもっとも高く、次いで「3～5人」22.6%となっている。一方、14.5%の人が「0人（いない）」と回答している。

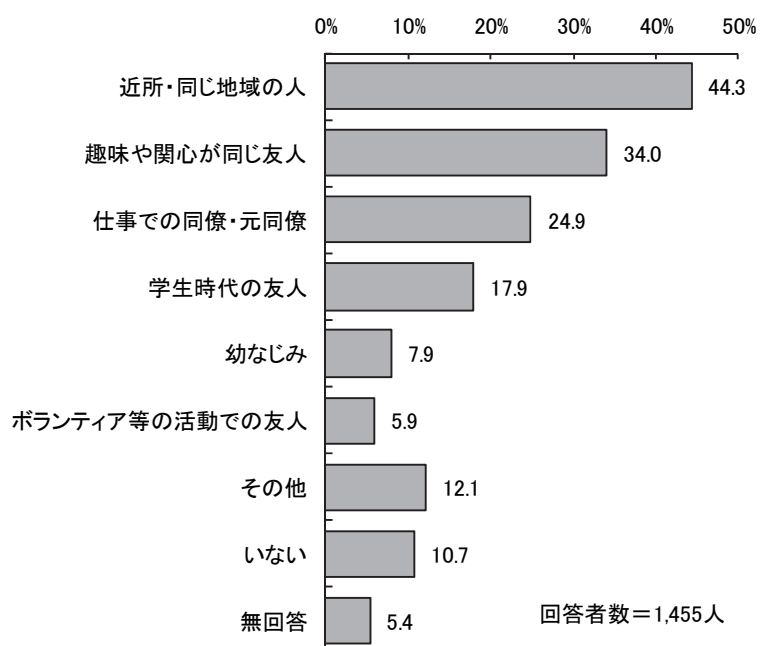
図表6-42 友人・知人数



## (3) よく会う友人・知人

よく会う友人・知人は、「近所・同じ地域の人」44.3%、「趣味や関心が同じ友人」34.0%、「仕事での同僚・元同僚」24.9%の順となっている。

図表6-43 よく会う友人・知人(複数回答)



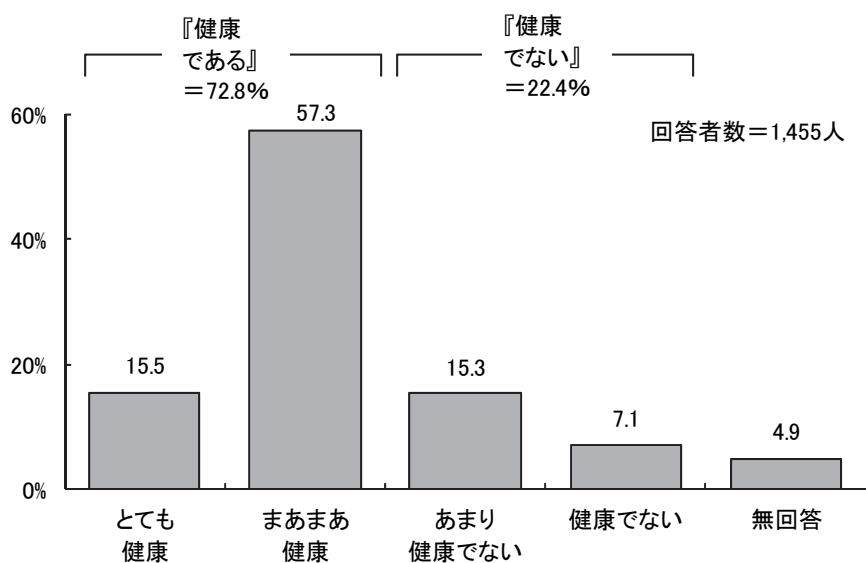
## VIII 健康について

### 1 健康状態

問 30 ふだん、ご自分で健康だと思いますか。(1つに○)

健康状態は、「まあまあ健康」が 57.3%と過半数を占めており、これに「とても健康」15.5%をあわせた“健康である”とと思っている人が 72.8%、「あまり健康でない」15.3%、「健康でない」7.1%をあわせた“健康でない”とと思っている人が 22.4%となっている。

図表6-44 健康状態

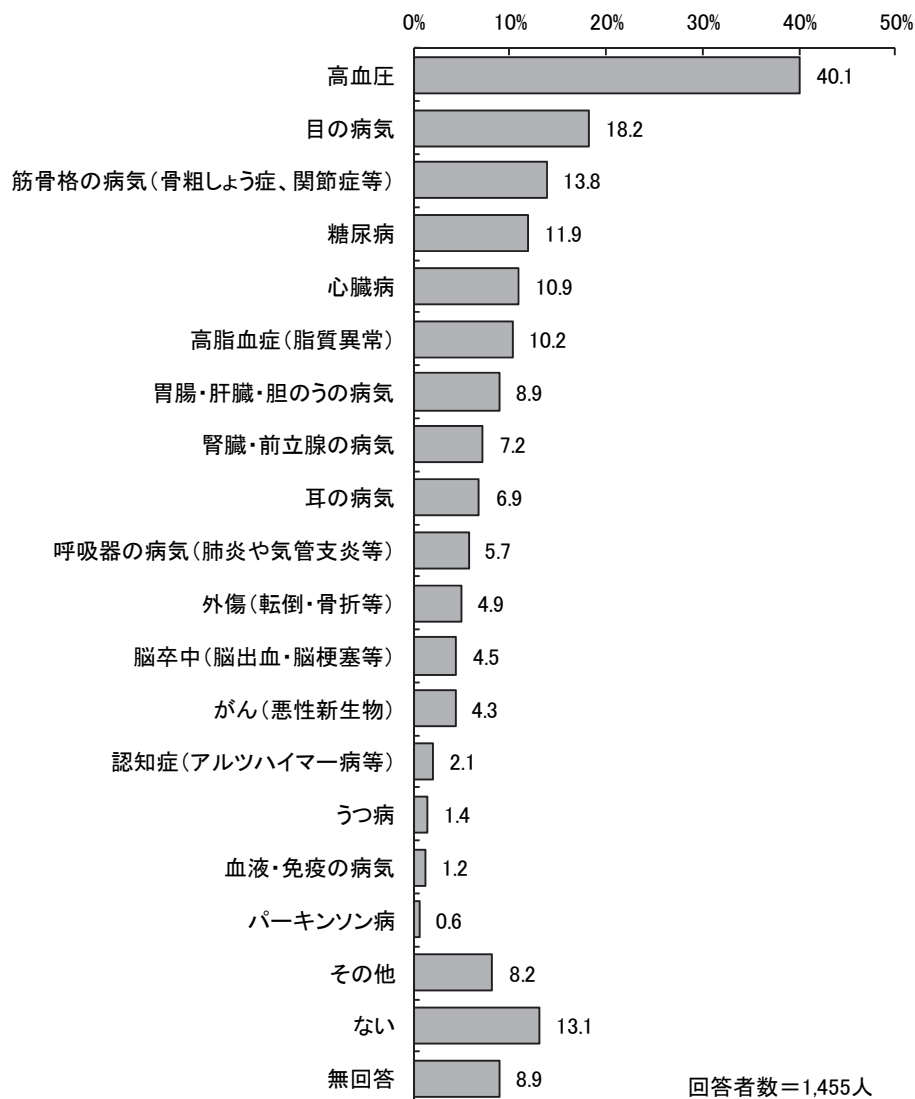


## 2 治療中、後遺症のある病気

問 31 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(あてはまるものすべてに○)

治療中、後遺症のある病気は、「高血圧」が 40.1%と最も高く、「目の病気」、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」、「糖尿病」、「心臓病」、「高脂血症（脂質異常）」が続いている。また、「ない」と回答した人は 13.1%となっている。

図表6-45 治療中、後遺症のある病気(複数回答)





### 3 通院状況

- 問 32 現在、病院・医院(診療所、クリニック)に通院していますか。(1つに○)  
 問 32-1 問 32 で「はい」に○をつけた方におうかがいします。その頻度は次のどれですか。(1つに○)  
 問 32-2 問 32 で「はい」に○をつけた方におうかがいします。通院に介助が必要ですか。(1つに○)  
 問 32-3 問 32 で「はい」に○をつけた方におうかがいします。通院している病院・医院(診療所、クリニック)は何カ所ありますか。(1つに○)

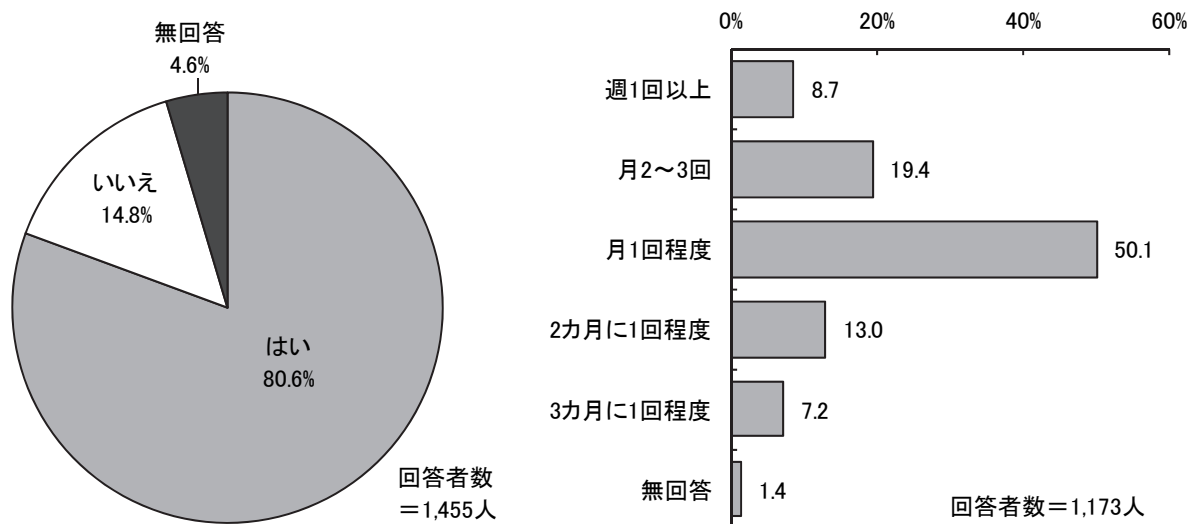
通院状況を見ると、80.6%の人が通院している(「はい」と回答)と回答している。

通院頻度は、「月1回程度」が50.1%と約半数を占め、次いで「月2~3回」19.4%、「2カ月に1回程度」13.0%となっている。

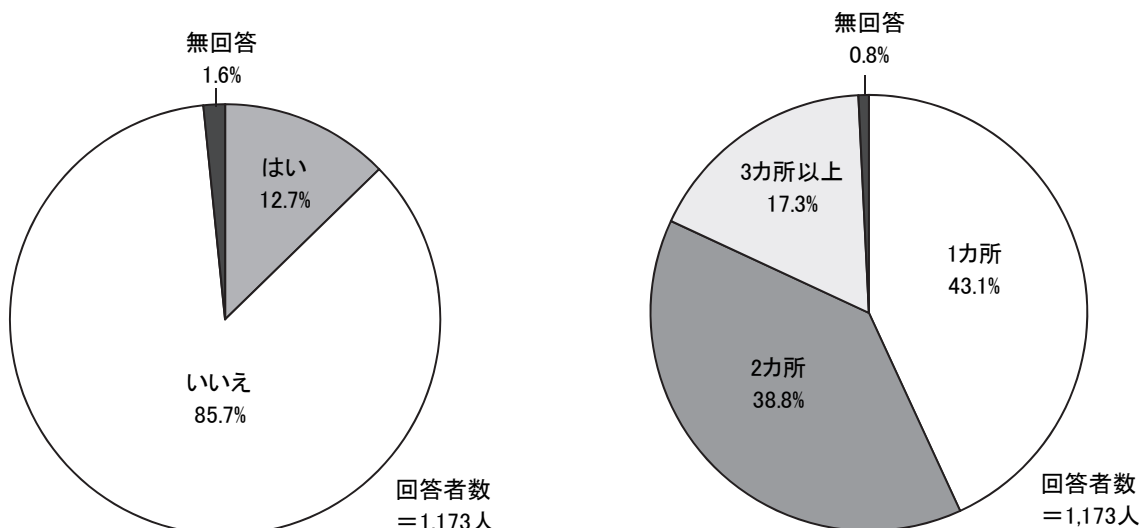
通院の介助については、必要ない人(「いいえ」と回答)が85.7%を占めている。

通院している病院・医院数は、「1カ所」43.1%、「2カ所」38.8%、「3カ所以上」17.3%となっている。

図表6-46 通院状況／通院頻度



図表6-47 通院における介助の必要性／通院している病院・医院数

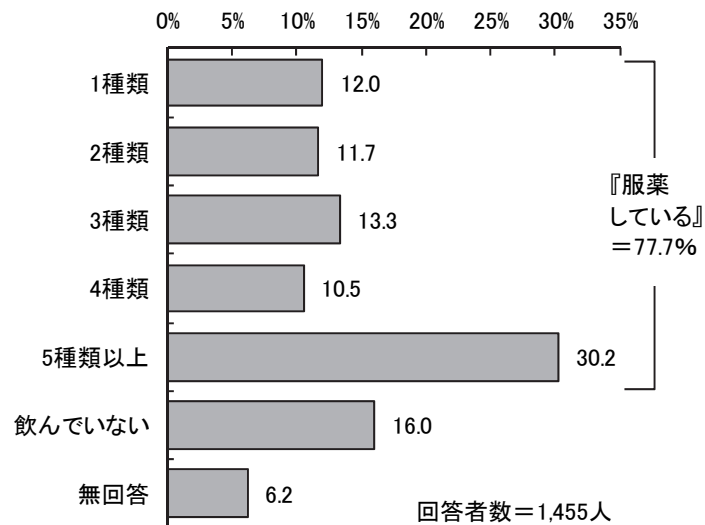


## 4 服薬している薬の種類

問 33 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいきますか。(1つに○)

服薬している薬の種類は、「5種類以上」が30.2%ともっとも高く、“服薬している”（「1種類」、「2種類」、「3種類」、「4種類」、「5種類以上」を合わせた割合）人が77.7%を占めている。また、「飲んでいない」人は16.0%となっている。

図表6-48 服薬している薬の種類



※ 『服薬している』 = 「1種類」 + 「2種類」 + 「3種類」  
+ 「4種類」 + 「5種類以上」

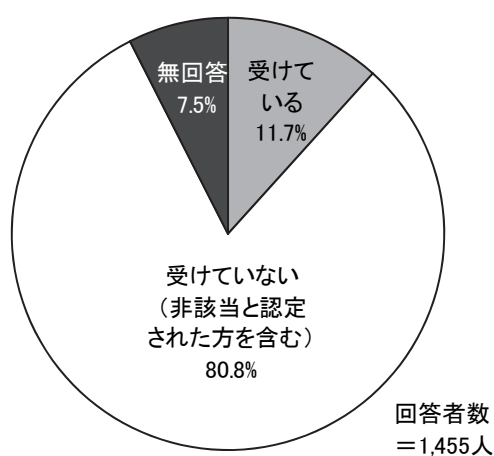
## 5 要支援・要介護認定状況

問 34 現在、介護保険の要支援・要介護認定を受けていますか。(1つに○)

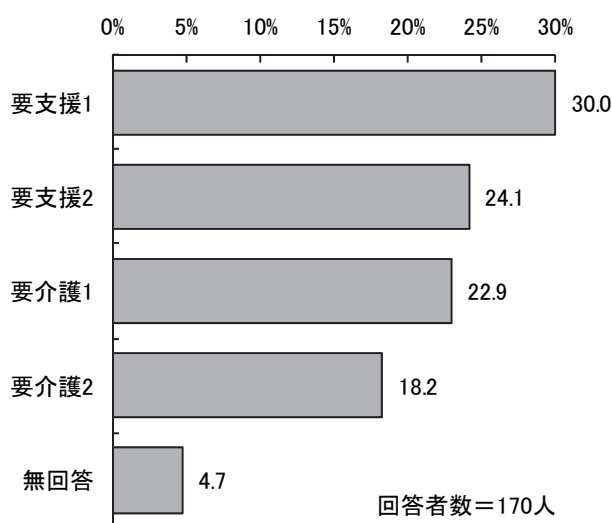
問 34-1 問 34 で「受けている」に○をした方におうかがいします。要介護度は次のうちどれですか。(1つに○)

要支援・要介護認定を受けている人は 11.7%であり、要介護度は「要支援 1」が 30.0%ともっとも高く、次いで「要支援 2」24.1%、「要介護 1」22.9%、「要介護 2」18.2%となっている。

図表6-49 要支援・要介護認定状況



図表6-50 要介護度

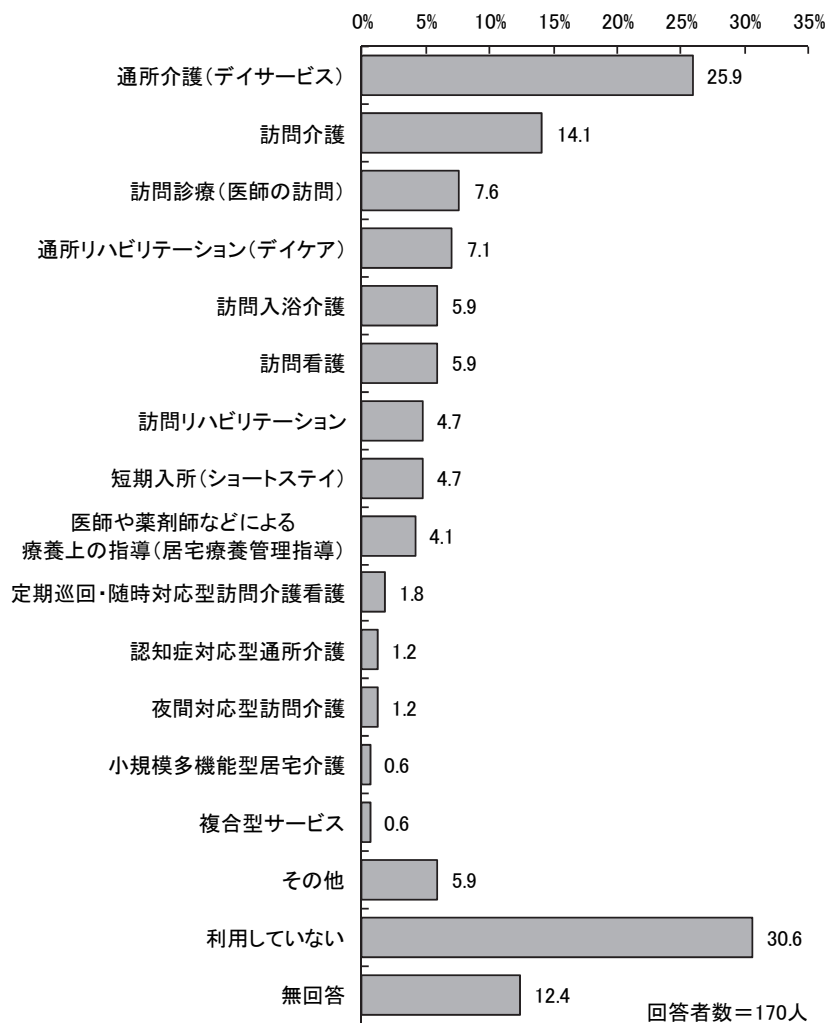


## 6 利用している在宅サービスの利用状況

問 34-2 問 34で「受けている」に○をした方におうかがいします。以下の在宅サービスを利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

要介護認定を受けている人が利用している在宅サービスは、「通所介護(デイサービス)」が 25.9%と最も高く、次いで「訪問介護」14.1%となっている。続いて「訪問診療(医師の訪問)」7.6%、「通所リハビリテーション(デイケア)」7.1%「訪問入浴介護」、「訪問看護」各 5.9%、「訪問リハビリテーション」、「短期入所(ショートステイ)」各 4.7%などとなっている。

図表6-51 利用している在宅サービスの利用状況(複数回答)



## 7 飲酒・喫煙の状況

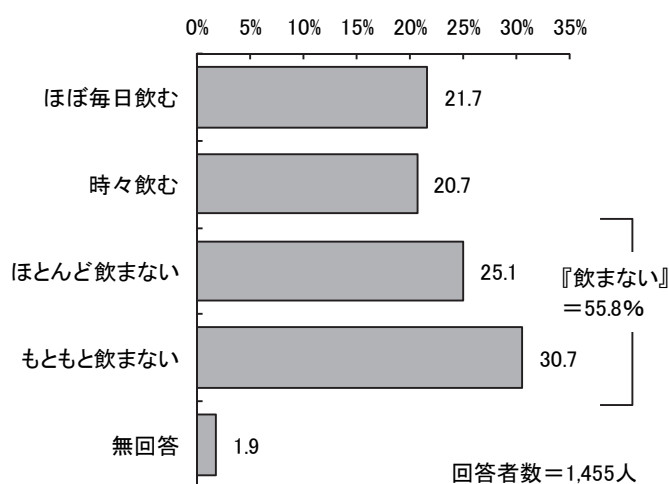
問 35 お酒は飲みますか。(1つに○)

問 36 タバコは吸っていますか。(1つに○)

お酒については、「ほとんど飲まない」25.1%、「もともと飲まない」30.7%をあわせた“飲まない”人が55.8%を占めている。一方、「ほぼ毎日飲む」と回答した人は21.7%となっている。

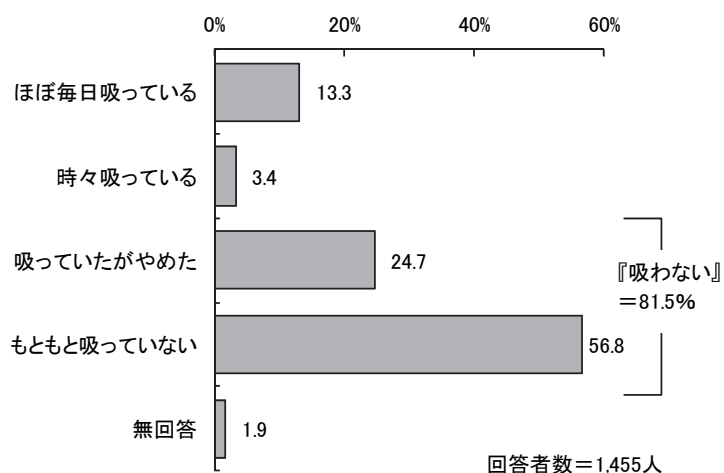
タバコについては「吸っていたがやめた」24.7%、「もともと吸っていない」56.8%をあわせた“吸わない”人が81.5%を占めている。一方、「ほぼ毎日吸っている」と回答した人は13.3%となっている。

図表6-52 飲酒の状況



※ 『飲まない』 = 「ほとんど飲まない」 + 「もともと飲まない」

図表6-53 喫煙の状況



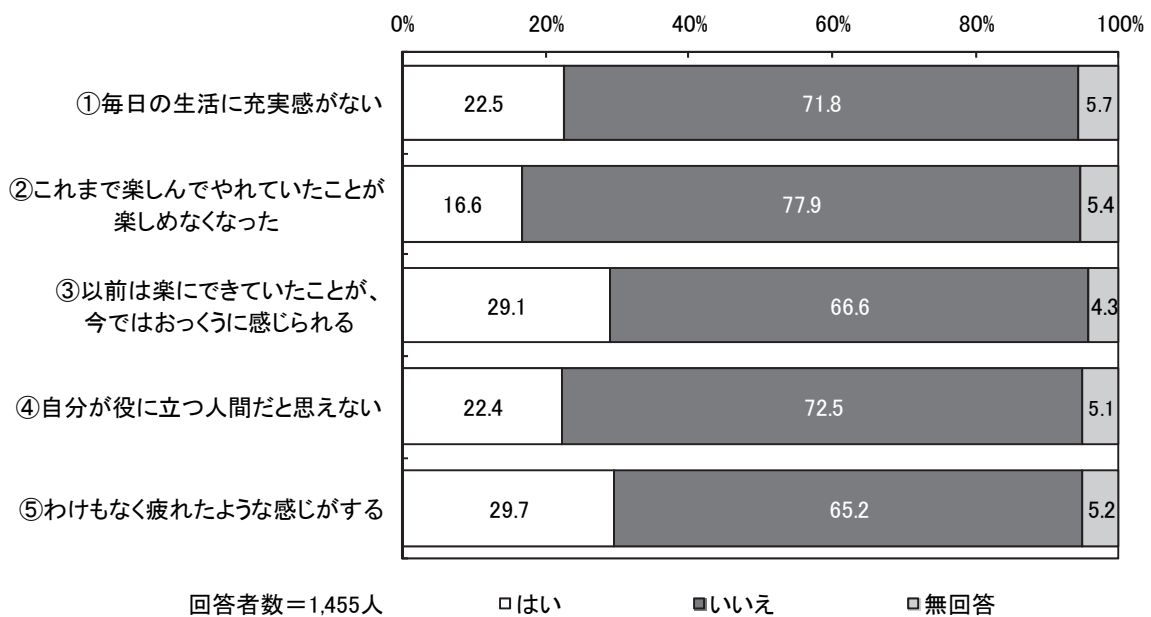
※ 『吸わない』 = 「吸っていたがやめた」 + 「もともと吸っていない」

## 8 気分の状況

問 37 次の①～⑤について、それぞれあてはまるもの1つに○をしてください。

気分の状況について、⑤わけもなく疲れたような感じがする人は 29.7%、③以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる人は 29.1%となっている。また、①毎日の生活に充実感がない人は 22.5%、④自分が役に立つ人間だと思えない人は 22.4%、②これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった人は 16.6%となっている。

図表6-54 気分の状況



## Ⅸ 自由回答

問 38 高齢者福祉・介護保険制度・健康などに関して、区への要望や意見がありましたら、下の欄にご記入ください。

区への要望や意見は 286 件であり、主な内容は、「高齢者福祉サービス・介護保険サービスについて」59 件、「経済的なことについて」31 件、「介護保険制度について」27 件となっている。

### ■ 高齢者福祉サービス・介護保険サービスについて

- ・ ひとり暮らしの訪問医療や訪問介護の充実を図って欲しい。
- ・ 特別養護老人ホームの入所待ちの人が多く、スムーズに入れるようになると良いと思う。
- ・ 風呂以外の介護についても希望する。家族がいても仕事をしており、朝早くから夜遅くまで留守のため、介護をしてもらえず困っている。
- ・ 収入も資産もない人の家賃補助をして欲しい。
- ・ 「高齢者の手引き」を参考にしているので、制度等が変わった時には更新して欲しい。

### ■ 経済的なことについて

- ・ 義母が特別養護老人ホームに入所しており、夫婦共に年金収入しかないので、負担が増えると生活が厳しくなる。
- ・ 安心して介護が受けられるように社会保障関係の予算を増額して欲しい。消費税は増税しないで欲しい。
- ・ 高齢者の医療費負担 3 割は、とても重いと感じている。老人夫婦でいくつもの病気を持っているため、収入の限度をほんの少し超えるだけで 1 割負担の人の 3 倍を払うのは大変。所得を基準にして欲しい。

### ■ 介護保険制度について

- ・ 介護保険等の手続きが面倒で分かりにくい。
- ・ 介護保険制度について、画一的ではなくある程度の幅が必要と感じる。
- ・ 介護の要・不要を認定する時は、公平な材料・判断等によって適切な対応・処置を行っていただきたい。
- ・ 介護保険の料金を年々上げるばかりでなく、何年も利用しない人に対しては多少の配慮があってもよいのではと思う。

## ■ 今後不安なこと・介護における困りごとについて

- ・ 義母が介護支援を受け入れてくれないので困っている。まだフルタイムで仕事しているので介護が大変である。
- ・ 一人での生活の中で短い病気の時、遠い友人・身内ではなく、身近で声をかけてくれ、少しだけ助けてくれる場があって欲しい。
- ・ 日・祭日や夜間に具合が悪くなった時に、どのようにしたらいいのか、どこへ相談したらいいのかなど、救急車を呼ぶ程でもない場合の処置について困り、不安である。

## ■ 就労支援・社会参加について

- ・ 高齢者でも働ける環境を作って欲しい。高齢者がいきいきと生活できる源である。
- ・ 清掃、教育活動など、高齢者が公共の役に立つ仕事を幅広く紹介して欲しい。
- ・ 学習、教養サークルをやってみようと思うが、夜の部が多くて参加しづらい。
- ・ 高齢者同士で、楽しんで参加できる機会が多くなるような行事を希望する。

## ■ 相談・情報提供・地域包括支援センターについて

- ・ 7か所の地域包括支援センター施設の充実をお願いしたい。
- ・ 色々なことを話し合える窓口が近くにたくさんあると、出かけるきっかけにもなると思う。
- ・ 健康や体調不良等についての相談窓口があると良いと思う。

## ■ 道路等のまちづくり・交通マナーについて

- ・ 高齢者にとって、マナーを守らない自転車は危険。自転車の走行について、マナーを守るよう指導を強化して欲しい。

## ■ その他

- ・ 昔と違って65歳から高齢者では早すぎるように思う（70歳くらいからでは）。高齢者の年齢を上げると、それにかかる費用がなくなり財政も楽になるのではと考える。
- ・ 施設の空室を、高齢者が体を動かしていきいき生きるための集まりができるよう、無料か低料金で開放するべきだと思う。
- ・ 25年間ボランティア活動をしてきたが、行政とボランティアがより深く信頼し合って活動を積極的にしていくことを期待している。



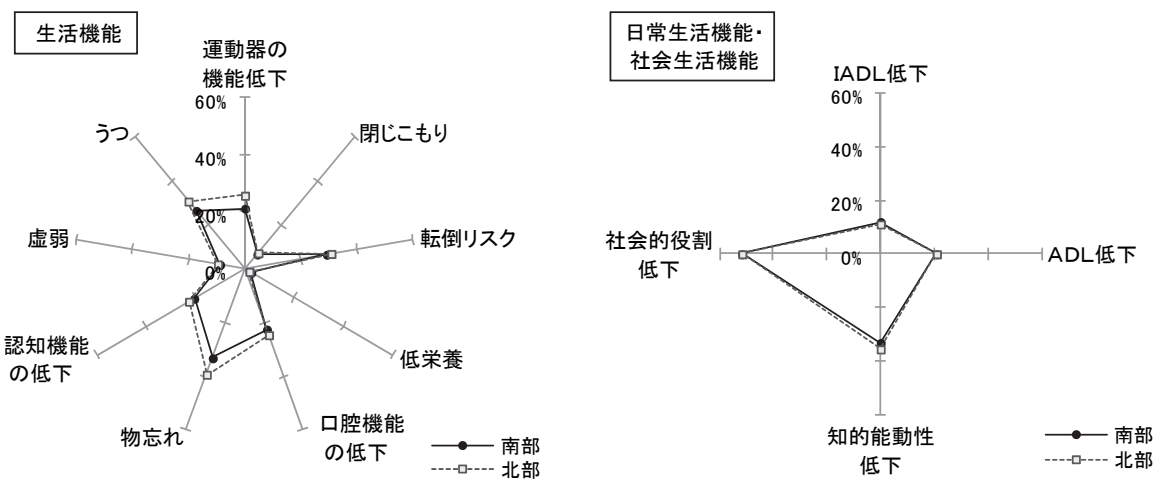
## X 生活機能及び日常生活・社会生活機能の評価結果

日常生活圏域高齢者ニーズ調査における生活機能評価の結果によると、全体では「物忘れ」に該当した人が36.5%と最も高く、次いで「転倒リスク」29.9%、「うつ」29.3%、「運動器の機能低下」23.7%となっている。また、2次予防対象者では「口腔機能の低下」に該当した人の割合が、要支援・要介護認定者では「転倒リスク」に該当した人の割合が最も高くなっている。

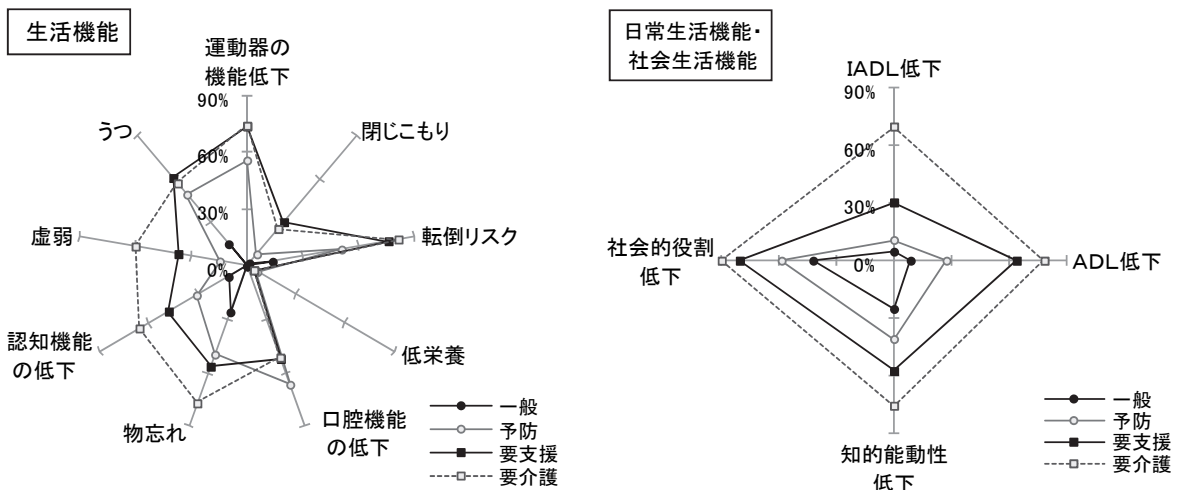
日常生活圏域（南部・北部）別に該当者の割合をみると、「低栄養」、「IADL低下」及び「社会的役割低下」については南部圏域が北部圏域を若干上回ったものの、多くの項目で、北部圏域のほうが南部圏域に比べて若干高い割合となっている。全体的には圏域別の大きな差はみられず、ほぼ同じ傾向であることがわかる。

認定状況別の割合を比較すると、多くの項目で要介護認定者の割合が最も高いが、「閉じこもり」と「うつ」の項目は、要支援認定者の割合が最も高くなっている。また、「低栄養」と「口腔機能の低下」の項目については、2次予防対象者が最も高い割合となっている。

図表6-55 日常生活圏域(南部・北部)別の該当者の割合



図表6-56 認定状況別の該当者の割合



# 1 評価結果のまとめ

以下は、要介護リスク該当者の割合を日常生活圏域・認定状況別にまとめたものである。

図表6-57 日常生活圏域・認定状況別生活機能及び日常生活・社会生活機能の評価結果のまとめ

		全 体			一般高齢者			2次予防対象者			
		全体	南部	北部	全体	南部	北部	全体	南部	北部	
人 数		1,455人	552人	848人	822人	329人	458人	354人	131人	216人	
要介護リスク該当者割合	生活機能	運動器の機能低下	23.7%	21.2%	25.7%	0.0%	0.0%	0.0%	55.9%	51.9%	57.9%
		閉じこもり	6.9%	6.7%	7.3%	1.9%	1.5%	2.2%	8.2%	9.2%	7.9%
		転倒リスク	29.9%	29.2%	30.8%	13.7%	12.8%	14.2%	50.8%	51.1%	50.5%
		低栄養	2.1%	2.5%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	6.2%	9.2%	4.2%
		口腔機能の低下	23.2%	22.5%	24.5%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	67.9%	66.7%
		物忘れ	36.5%	33.2%	39.3%	25.9%	24.0%	27.5%	49.7%	43.5%	54.2%
		認知機能の低下	21.9%	20.6%	22.7%	11.3%	10.3%	11.8%	30.8%	29.8%	31.6%
		虚弱	9.1%	8.9%	9.7%	0.0%	0.0%	0.0%	14.7%	15.3%	14.4%
		うつ	29.3%	26.6%	30.9%	15.2%	13.1%	15.7%	49.4%	45.8%	51.4%
	IADL低下	11.3%	12.0%	11.1%	4.7%	4.5%	4.8%	10.8%	9.9%	11.6%	
	ADL低下	20.9%	20.8%	20.9%	8.7%	8.5%	8.5%	27.4%	31.3%	25.0%	
	知的能動性低下	34.2%	33.0%	35.4%	25.2%	24.0%	26.0%	40.9%	38.2%	42.1%	
	社会的役割低下	51.4%	51.6%	51.5%	42.2%	42.3%	42.2%	58.7%	60.3%	57.4%	
人 数		92人	32人	58人	70人	32人	36人				
要介護リスク該当者割合	生活機能	運動器の機能低下	73.9%	75.0%	74.1%	74.3%	68.8%	77.8%			
		閉じこもり	30.4%	37.5%	27.6%	25.7%	25.0%	27.8%			
		転倒リスク	76.1%	75.0%	77.6%	81.4%	81.3%	80.6%			
		低栄養	4.3%	6.3%	3.4%	4.3%	0.0%	8.3%			
		口腔機能の低下	52.2%	53.1%	53.4%	51.4%	46.9%	55.6%			
		物忘れ	56.5%	56.3%	58.6%	77.1%	71.9%	80.6%			
		認知機能の低下	47.9%	53.1%	46.5%	65.8%	59.3%	69.4%			
		虚弱	37.0%	40.6%	36.2%	60.0%	46.9%	72.2%			
		うつ	60.9%	62.5%	60.3%	57.1%	56.3%	61.1%			
	IADL低下	30.4%	43.8%	22.4%	70.0%	68.8%	69.5%				
	ADL低下	64.1%	62.5%	65.5%	78.6%	71.9%	83.3%				
	知的能動性低下	57.6%	59.4%	56.9%	75.7%	71.9%	77.8%				
	社会的役割低下	80.5%	81.2%	81.1%	90.0%	87.5%	94.4%				

■本報告書における区分は、以下のとおりである。

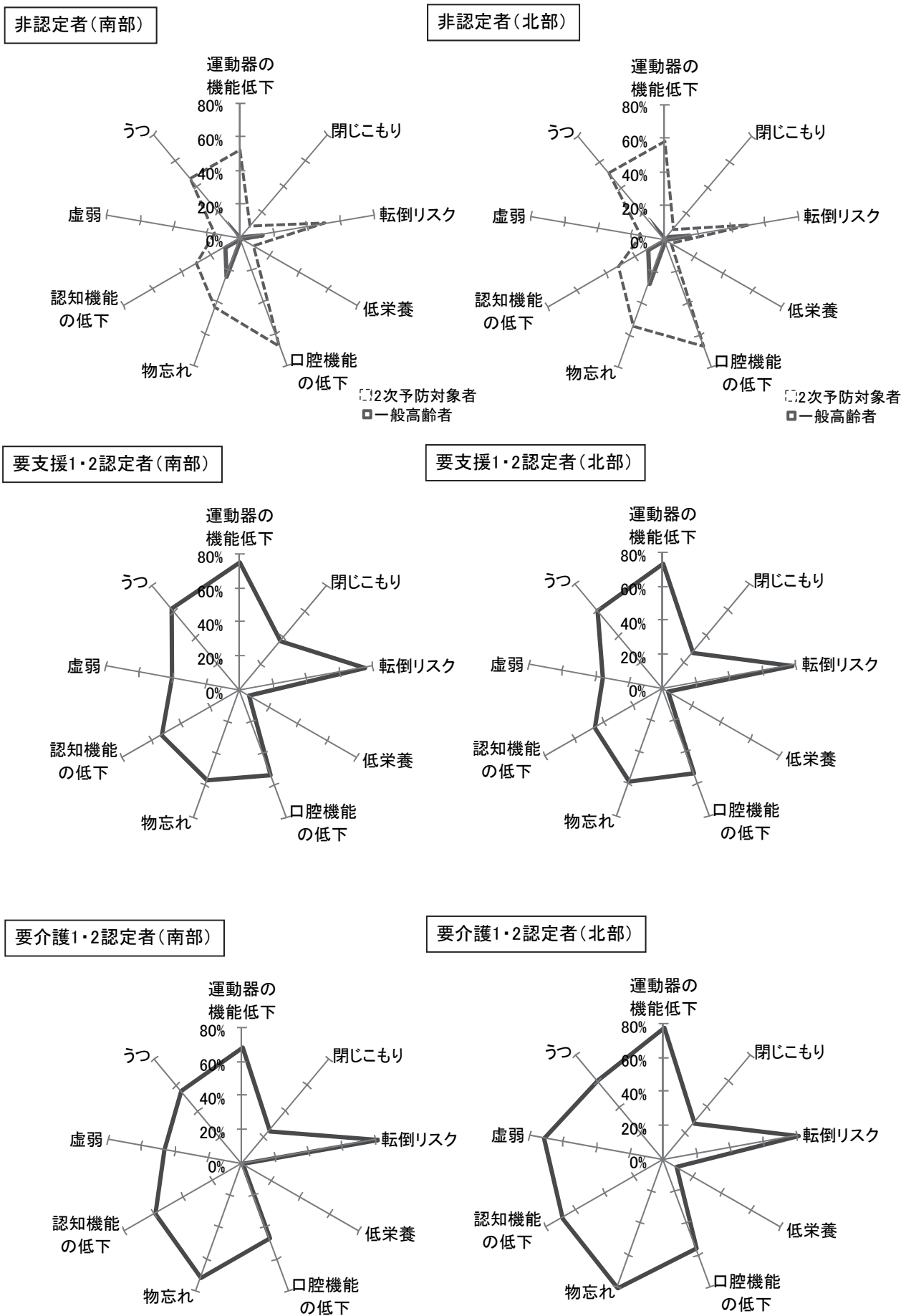
**【認定状況別の区分】**

- 要支援： 要支援1または要支援2と回答した人。
  - 要介護： 要介護1または要介護2と回答した人。
  - 予防： 基本チェックリストの集計で2次予防事業の対象条件に該当した人。（認定者を除く）
  - 一般： 要支援・要介護認定者及び2次予防対象者に該当しない人。
- ※「非認定者」とは「一般」及び「予防」、「認定者」とは「要支援」及び「要介護」のこと。

**【日常生活圏域別の区分】**

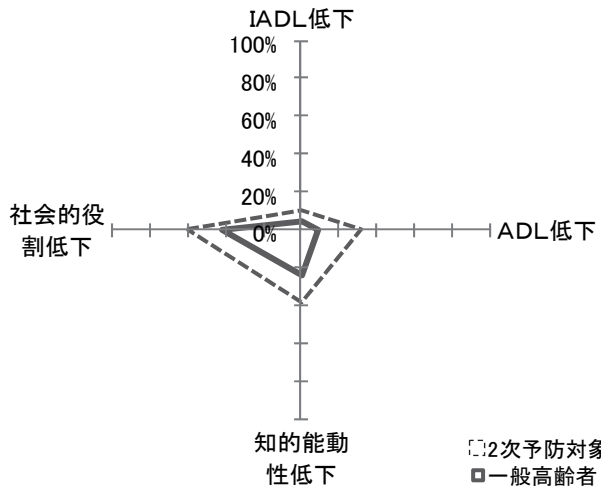
- 南部圏域： 池之端、上野公園、上野桜木、谷中、台東、秋葉原、上野、東上野、元浅草、柳橋、浅草橋、鳥越、蔵前、小島、三筋、寿、駒形、雷門
- 北部圏域： 浅草、千束、花川戸、下谷、根岸、三ノ輪、竜泉、日本堤、北上野、入谷、松が谷、西浅草、今戸、東浅草、清川、橋場

図表6-58 生活機能リスク該当者の割合

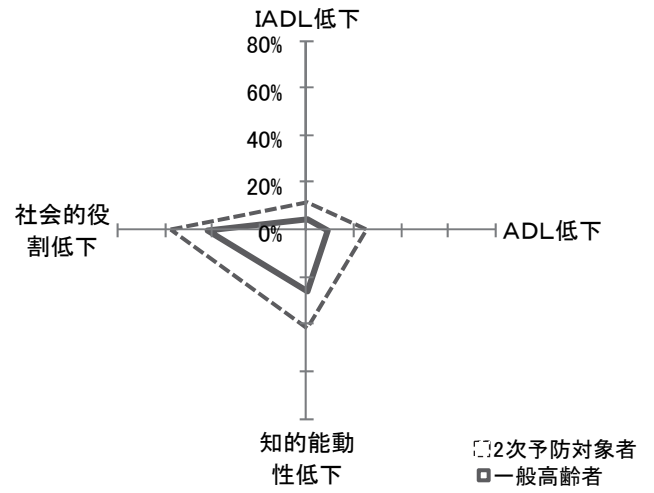


図表6-59 日常生活・社会生活機能低下者の割合

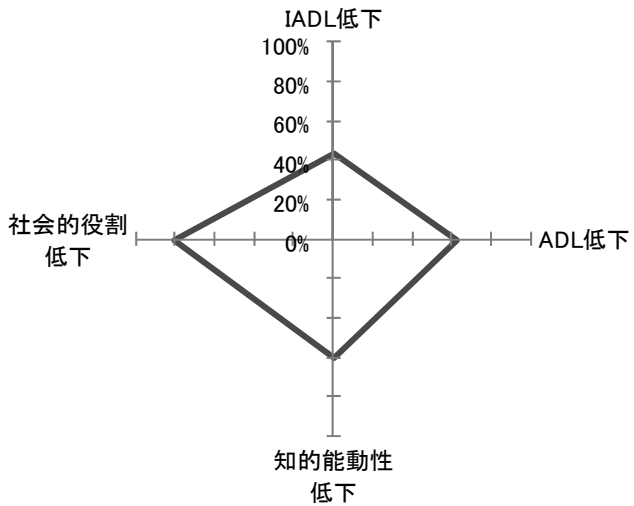
非認定者(南部)



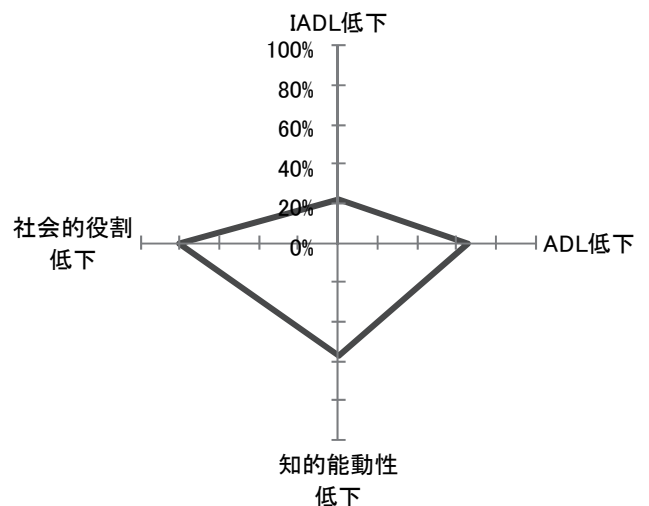
非認定者(北部)



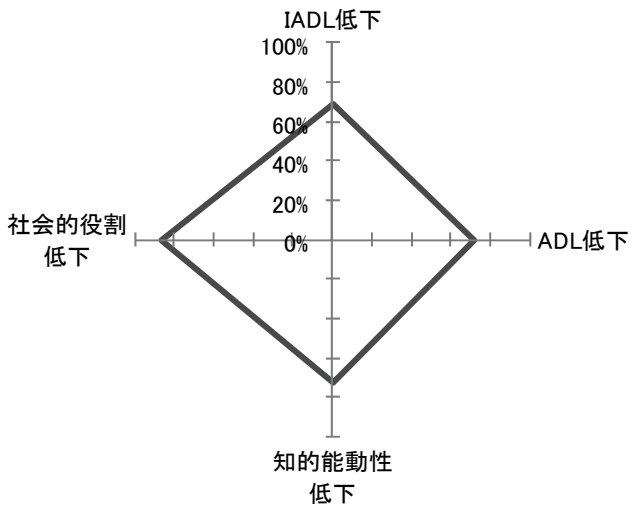
要支援1・2認定者(南部)



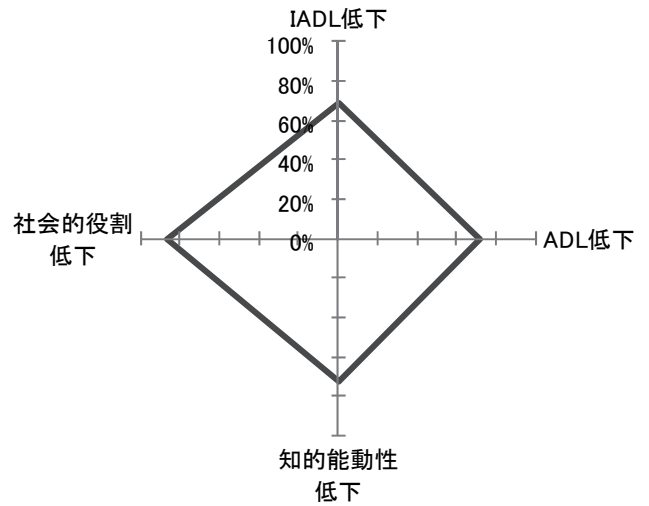
要支援1・2認定者(北部)



要介護1・2認定者(南部)



要介護1・2認定者(北部)



## 2 生活機能及び日常生活・社会生活機能の評価

### (1)運動器の機能低下

- ・運動器の機能低下該当者の割合は全体の23.7%であり、男性19.3%、女性27.0%と、男性より女性の方が高く、また年齢層が高くなるほど割合が高くなっている。
- ・認定状況別にみると、2次予防対象者は55.9%と半数以上の人該当している。また、要支援認定者は73.9%、要介護認定者は74.3%と、認定者ではともに70%を超えている。

図表6-60 運動器の機能低下

		回答者数(人)	該当	非該当	無回答
全体		1,455	23.7	66.8	9.5
性・年齢別	男性	623	19.3	71.7	9.0
	65～69歳	161	9.9	87.0	3.1
	70～74歳	181	13.3	79.6	7.2
	75～79歳	136	22.8	68.4	8.8
	80～84歳	87	32.2	57.5	10.3
	85歳以上	50	38.0	30.0	32.0
	女性	818	27.0	63.6	9.4
	65～69歳	211	12.8	82.5	4.7
	70～74歳	213	16.4	75.1	8.5
	75～79歳	177	29.4	61.0	9.6
	80～84歳	130	43.8	44.6	11.5
	85歳以上	84	58.3	22.6	19.0

		回答者数(人)	該当	非該当	無回答
全体		1,455	23.7	66.8	9.5
認定状況別	非認定者	1,176	16.8	75.9	7.2
	一般	822	0.0	91.7	8.3
	予防	354	55.9	39.3	4.8
	認定者	162	74.1	13.6	12.3
	要支援	92	73.9	14.1	12.0
	要介護	70	74.3	12.9	12.9

### <評価項目の回答結果>

	非認定者(1,176人)		認定者(162人)	
	一般(822人)	予防(354人)	要支援(92人)	要介護(70人)
問12① 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていただけますか (いいえ・・・1点)	36.4		83.3	
	23.6	66.1	82.6	84.3
問12② 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ちあがっていますか (いいえ・・・1点)	16.1		72.8	
	4.3	43.5	72.8	72.9
問12③ 15分位続けて歩いていますか (いいえ・・・1点)	9.9		53.7	
	4.4	22.9	48.9	60.0
問15① この1年間に転んだことがありますか (いいえ・・・1点)	22.5		52.5	
	13.6	43.2	45.7	61.4
問15② 転倒に対する不安は大きいですか (いいえ・・・1点)	40.1		86.4	
	26.5	71.5	87.0	85.7

★合計が3点以上でリスクあり(該当者)と判定

(2)閉じこもり

- ・閉じこもり該当者の割合は全体の6.9%であり、男性5.9%、女性7.6%と、運動器同様に男性より女性の方が高く、また年齢層が高くなるほど割合が高くなっている。
- ・認定状況別にみると、一般高齢者は1.9%、2次予防対象者は8.2%と非認定者における該当者は1割未満であるが、認定者では要支援認定者が30.4%、要介護認定者が25.7%と、約3割の人が該当している。

図表6-61 閉じこもり

		回答者数(人)	該当	非該当	無回答
全体		1,455	6.9	90.1	3.0
性・年齢別	男性	623	5.9	90.9	3.2
	65～69歳	161	3.1	95.7	1.2
	70～74歳	181	3.3	93.4	3.3
	75～79歳	136	7.4	89.7	2.9
	80～84歳	87	10.3	85.1	4.6
	85歳以上	50	14.0	80.0	6.0
	女性	818	7.6	89.7	2.7
	65～69歳	211	2.8	97.2	0.0
	70～74歳	213	4.2	93.4	2.3
	75～79歳	177	9.0	88.1	2.8
	80～84歳	130	12.3	84.6	3.1
	85歳以上	84	17.9	72.6	9.5

		回答者数(人)	該当	非該当	無回答
全体		1,455	6.9	90.1	3.0
認定状況別	非認定者	1,176	3.8	94.3	1.9
	一般	822	1.9	96.4	1.7
	予防	354	8.2	89.5	2.3
	認定者	162	28.4	66.7	4.9
	要支援	92	30.4	65.2	4.3
	要介護	70	25.7	68.6	5.7

<評価項目の回答結果>

	非認定者(1,176人)		認定者(162人)	
	一般(822人)	予防(354人)	要支援(92人)	要介護(70人)
問12⑤ 週に1回は外出していますか (いいえ・・・1点)	3.8		28.4	
	1.9	8.2	30.4	25.7

★1点でリスクあり(該当者)と判定

### (3) 転倒リスク

- ・ 転倒リスク該当者の割合は全体の 29.9%であり、男性 30.7%、女性 29.3%と男女差は比較的小さい。また年齢層については、年齢が高くなるほど割合が高くなっている。
- ・ 認定状況別にみると、該当者の割合は、一般高齢者では 13.7%である一方、2 次予防対象者では 50.8%と約 3.7 倍となっている。また認定者では要支援認定者の 76.1%、要介護認定者の 81.4%が該当している。

図表6-62 転倒リスク

		回答者数(人)	該当	非該当	無回答
全体		1,455	29.9	58.1	12.0
性・年齢別	男性	623	30.7	59.1	10.3
	65～69 歳	161	19.9	75.2	5.0
	70～74 歳	181	26.5	63.0	10.5
	75～79 歳	136	37.5	49.3	13.2
	80～84 歳	87	34.5	56.3	9.2
	85 歳以上	50	54.0	30.0	16.0
	女性	818	29.3	57.9	12.7
	65～69 歳	211	15.6	74.4	10.0
	70～74 歳	213	22.5	64.3	13.1
	75～79 歳	177	28.8	57.6	13.6
	80～84 歳	130	44.6	41.5	13.8
	85 歳以上	84	58.3	26.2	15.5

		回答者数(人)	該当	非該当	無回答
全体		1,455	29.9	58.1	12.0
認定状況別	非認定者	1,176	24.9	67.9	7.2
	一般	822	13.7	78.7	7.5
	予防	354	50.8	42.7	6.5
	認定者	162	78.4	13.0	8.6
	要支援	92	76.1	16.3	7.6
	要介護	70	81.4	8.6	10.0

#### <評価項目の回答結果>

	非認定者(1,176人)		認定者(162人)	
	一般(822人)	予防(354人)	要支援(92人)	要介護(70人)
問15① この1年間に転んだことがありますか (はい・・・5点)	22.5		52.5	
	13.6	43.2	45.7	61.4
問15③ 背中が丸くなってきましたか (はい・・・2点)	29.4		61.7	
	22.5	45.5	55.4	70.0
問15④ 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか (はい・・・2点)	59.4		88.3	
	48.9	83.9	88.0	88.6
問15⑤ 杖を使っていますか (はい・・・2点)	7.4		67.3	
	3.3	16.9	68.5	65.7
問33 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでますか (5種類以上・・・2点)	27.5		62.3	
	20.8	42.9	60.9	64.3

★合計が6点以上でリスクあり(該当者)と判定



#### (4)低栄養

- ・低栄養該当者の割合は全体の 2.1%であり、男性が 1.6%、女性が 2.4%と、男性より女性の方が高くなっている。年齢層については、男女ともに 85 歳以上では 4%を超えているが、全体として、「運動器の機能低下」や「転倒リスク」などの他項目に比べると、該当者の割合が非常に低い項目である。
- ・認定状況別にみると、2 次予防対象者の 6.2%が該当しており、要支援認定者及び要介護認定者の 4.3%を上回りもっとも高いことがわかる。

図表6-63 低栄養

		回答者数(人)	該当	非該当	無回答
全体		1,455	2.1	91.5	6.4
性・年齢別	男性	623	1.6	93.6	4.8
	65～69 歳	161	0.6	97.5	1.9
	70～74 歳	181	2.2	95.6	2.2
	75～79 歳	136	1.5	92.6	5.9
	80～84 歳	87	1.1	92.0	6.9
	85 歳以上	50	4.0	78.0	18.0
	女性	818	2.4	91.2	6.4
	65～69 歳	211	1.9	96.2	1.9
	70～74 歳	213	1.4	94.8	3.8
	75～79 歳	177	2.8	91.0	6.2
	80～84 歳	130	3.1	85.4	11.5
85 歳以上	84	4.8	78.6	16.7	

		回答者数(人)	該当	非該当	無回答
全体		1,455	2.1	91.5	6.4
認定状況別	非認定者	1,176	1.9	93.9	4.3
	一般	822	0.0	95.6	4.4
	予防	354	6.2	89.8	4.0
	認定者	162	4.3	83.3	12.3
	要支援	92	4.3	83.7	12.0
	要介護	70	4.3	82.9	12.9

#### <評価項目の回答結果>

	非認定者(1,176人)		認定者(162人)	
	一般(822人)	予防(354人)	要支援(92人)	要介護(70人)
問16① 6カ月で2～3kg 以上の体重の減少がありましたか (はい・・・1点)	13.0		24.7	
	9.0	22.3	26.1	22.9
問3 BMI(体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)<18.5 (18.5未満・・・1点)	9.9		14.2	
	8.4	13.3	13.0	15.7

★合計が 2 点以上でリスクあり(該当者)と判定

### (5) 口腔機能の低下

- ・ 口腔機能の低下該当者の割合は全体の 23.2%であり、男性 23.6%、女性 22.5%と男女差は比較的小さい。また年齢層については、年齢が高くなるほど割合が高くなっている。
- ・ 認定状況別にみると、2次予防対象者の 66.7%が該当している。要支援認定者は 52.2%、要介護認定者は 51.4%と認定者はともに 5 割を超えており、2 次予防対象者がもっとも高いことが特徴的である。

図表6-64 口腔機能の低下

		回答者数(人)	該当	非該当	無回答
全体		1,455	23.2	71.3	5.6
性・年齢別	男性	623	23.6	71.6	4.8
	65～69 歳	161	19.9	79.5	0.6
	70～74 歳	181	21.0	75.1	3.9
	75～79 歳	136	23.5	69.9	6.6
	80～84 歳	87	29.9	63.2	6.9
	85 歳以上	50	32.0	54.0	14.0
	女性	818	22.5	71.4	6.1
	65～69 歳	211	13.3	84.4	2.4
	70～74 歳	213	18.8	74.6	6.6
	75～79 歳	177	21.5	71.8	6.8
	80～84 歳	130	30.8	60.8	8.5
85 歳以上	84	45.2	45.2	9.5	

		回答者数(人)	該当	非該当	無回答
全体		1,455	23.2	71.3	5.6
認定状況別	非認定者	1,176	20.1	75.7	4.3
	一般	822	0.0	94.6	5.4
	予防	354	66.7	31.6	1.7
	認定者	162	51.9	43.2	4.9
	要支援	92	52.2	43.5	4.3
	要介護	70	51.4	42.9	5.7

### <評価項目の回答結果>

	非認定者(1,176人)		認定者(162人)	
	一般(822人)	予防(354人)	要支援(92人)	要介護(70人)
問16② 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (はい・・・1点)	25.6		64.2	
	12.8	55.4	67.4	60.0
問16③ お茶や汁物等で、むせることがありますか (はい・・・1点)	22.0		46.3	
	9.6	50.8	45.7	47.1
問16④ 口の渇きが気になりますか (はい・・・1点)	26.2		45.7	
	10.6	62.4	47.8	42.9

★合計が 2 点以上でリスクあり(該当者)と判定

## (6)物忘れ

- ・物忘れ該当者の割合は全体の36.5%と、他に比べて割合の高い項目である。男性38.7%、女性34.5%と男性の方が高いが、女性は年齢が高くなるほど割合が高くなっている。
- ・認定状況別にみると、一般高齢者の25.9%、2次予防対象者の49.7%、要支援認定者の56.5%、要介護認定者では77.1%が該当しており、2次予防対象者と要支援認定者の割合にあまり差がないことが特徴的である。

図表6-65 物忘れ

		回答者数(人)	該当	非該当	無回答
全体		1,455	36.5	59.4	4.1
性・年齢別	男性	623	38.7	57.5	3.9
	65～69歳	161	37.9	61.5	0.6
	70～74歳	181	35.4	61.9	2.8
	75～79歳	136	40.4	53.7	5.9
	80～84歳	87	29.9	62.1	8.0
	85歳以上	50	60.0	34.0	6.0
	女性	818	34.5	61.2	4.3
	65～69歳	211	24.2	73.9	1.9
	70～74歳	213	31.9	65.3	2.8
	75～79歳	177	35.0	61.0	4.0
	80～84歳	130	38.5	54.6	6.9
	85歳以上	84	58.3	31.0	10.7

		回答者数(人)	該当	非該当	無回答
全体		1,455	36.5	59.4	4.1
認定状況別	非認定者	1,176	33.1	64.0	2.9
	一般	822	25.9	70.4	3.6
	予防	354	49.7	49.2	1.1
	認定者	162	65.4	29.6	4.9
	要支援	92	56.5	39.1	4.3
	要介護	70	77.1	17.1	5.7

### <評価項目の回答結果>

	非認定者(1,176人)		認定者(162人)	
	一般(822人)	予防(354人)	要支援(92人)	要介護(70人)
問20① 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると言われますか (はい・・・1点)	12.9		46.3	
	8.0	24.3	38.0	57.1
問20② 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか (いいえ・・・1点)	11.6		32.1	
	10.1	15.3	20.7	47.1
問20③ 今日が何月何日かわからない時がありますか (はい・・・1点)	19.2		46.9	
	13.9	31.6	38.0	58.6

★合計が1点以上でリスクあり(該当者)と判定

## (7) 認知機能の低下

- ・ 認知機能の低下該当者の割合は全体の 21.8%であり、男性 23.2%、女性 20.5%と男性の方が高い。また年齢層については、年齢が高くなるほど割合が高くなっている。
- ・ 認定状況別にみると、該当者の割合は、一般高齢者の 11.4%、2次予防対象者の 30.8%、要支援認定者の 47.9%、要介護認定者の 65.8%となっている。

図表6-66 認知機能の低下

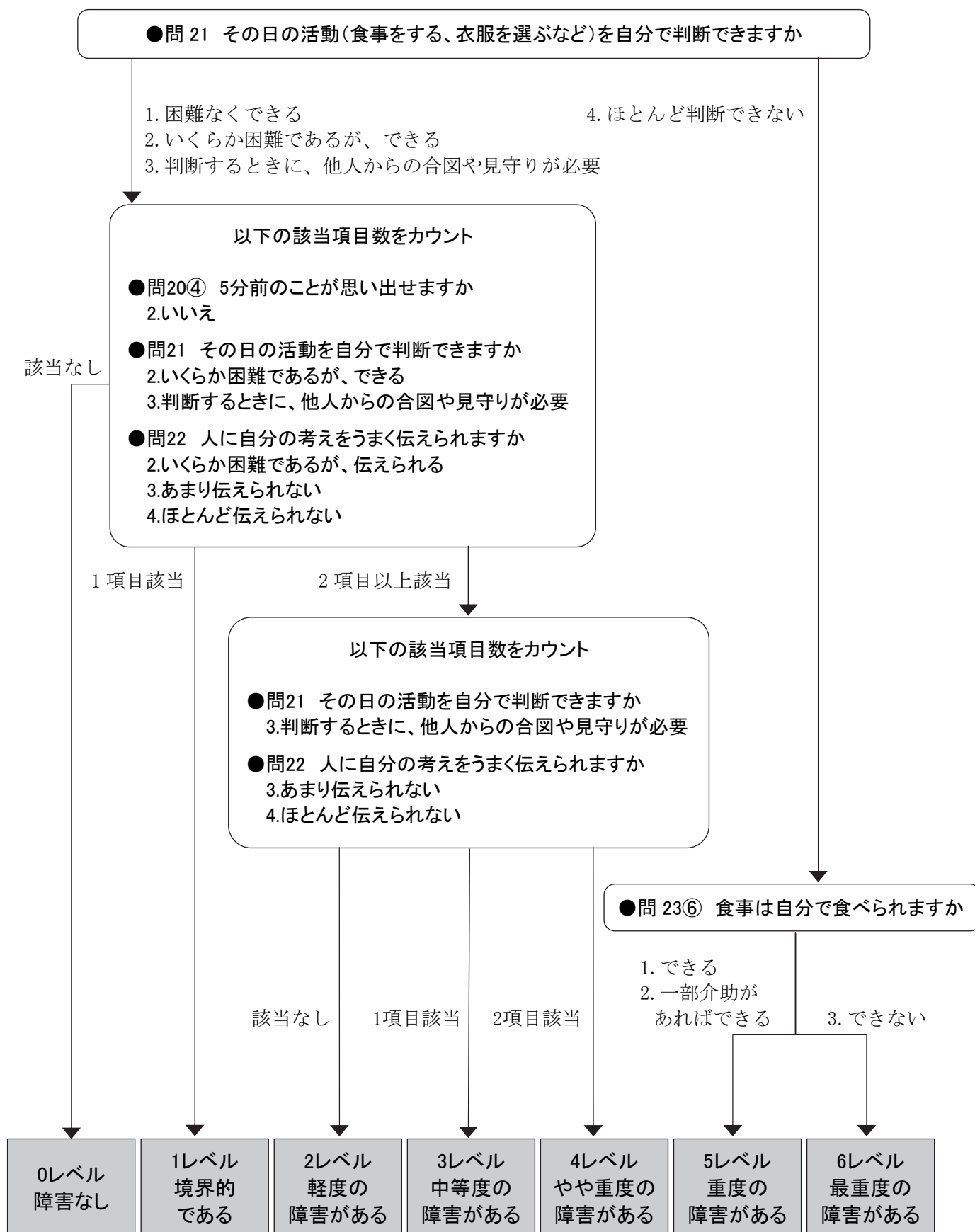
		回答者数(人)	障害なし	境界的	軽度の障害がある	中等度の障害がある	やや重度の障害がある	重度の障害がある	最重度の障害がある	無回答	低下者
全体		1,455	72.9	13.7	5.3	1.8	0.6	0.3	0.1	5.3	21.8
性・年齢別	男性	623	72.1	15.2	5.6	1.6	0.3	0.3	0.2	4.7	23.2
	65～69歳	161	81.4	12.4	3.7	0.6	0.0	0.0	0.0	1.9	16.7
	70～74歳	181	76.2	14.9	3.3	1.7	0.0	0.0	0.0	3.9	19.9
	75～79歳	136	69.1	17.6	4.4	1.5	0.7	0.7	0.0	5.9	24.9
	80～84歳	87	67.8	11.5	11.5	2.3	0.0	0.0	0.0	6.9	25.3
	85歳以上	50	44.0	22.0	14.0	4.0	2.0	2.0	2.0	10.0	46.0
	女性	818	73.7	12.6	5.0	1.8	0.7	0.4	0.0	5.7	20.5
	65～69歳	211	88.6	7.1	0.9	0.0	0.0	0.5	0.0	2.8	8.5
	70～74歳	213	78.4	14.6	2.3	0.0	0.0	0.5	0.0	4.2	17.4
	75～79歳	177	71.2	13.6	5.6	2.3	0.0	0.0	0.0	7.3	21.5
	80～84歳	130	64.6	17.7	4.6	2.3	3.1	0.0	0.0	7.7	27.7
85歳以上	84	44.0	11.9	20.2	9.5	2.4	1.2	0.0	10.7	45.2	
認定状況別	非認定者	1,176	78.6	13.6	2.6	0.9	0.1	0.0	0.0	4.2	17.2
	一般	822	83.8	10.3	0.9	0.2	0.0	0.0	0.0	4.7	11.4
	予防	354	66.4	21.2	6.8	2.5	0.3	0.0	0.0	2.8	30.8
	認定者	162	38.9	16.7	25.9	7.4	3.7	1.9	0.0	5.6	55.6
	要支援	92	45.7	20.7	23.9	3.3	0.0	0.0	0.0	6.5	47.9
	要介護	70	30.0	11.4	28.6	12.9	8.6	4.3	0.0	4.3	65.8

※低下者＝「境界的」＋「軽度の障害がある」＋「中等度の障害がある」＋「やや重度の障害がある」＋「重度の障害がある」＋「最重度の障害がある」。

### <評価項目の回答結果>

	非認定者(1,176人)		認定者(162人)	
	一般(822人)	予防(354人)	要支援(92人)	要介護(70人)
問20④ 5分前のことが思い出せますか(いいえ)	8.8		21.0	
	6.4	14.1	12.0	32.9
問21 その日の活動を自分で判断できますか (いづらか困難であるが、できる～ほとんど判断できない)	5.3		45.7	
	2.1	12.7	33.7	61.4
問22 人に自分の考えをうまく伝えられますか (いづらか困難であるが、伝えられる～ほとんど伝えられない)	8.6		44.4	
	4.9	17.2	42.4	47.1
問23⑥ 食事は自分で食べられますか(一部介助があればできる・できない)	0.3		13.0	
	0.1	0.6	5.4	22.9

図表6-67 認知機能の障害程度の評価方法



(8) 虚弱

- ・ 虚弱の該当者の割合は全体の 9.1%であり、男性 9.5%、女性 9.0%と男女差は比較的小さい。また年齢層については、女性は年齢が高くなるほど割合が高くなっている。
- ・ 認定状況別にみると、2次予防対象者の 14.7%、要支援認定者の 37.0%、要介護認定者の 60.0%が該当している。

図表6-68 虚弱

		回答者数(人)	該当	非該当	無回答
全体		1,455	9.1	71.1	19.8
性・年齢別	男性	623	9.5	72.6	18.0
	65～69歳	161	5.6	86.3	8.1
	70～74歳	181	7.7	77.9	14.4
	75～79歳	136	11.0	72.1	16.9
	80～84歳	87	9.2	64.4	26.4
	85歳以上	50	22.0	26.0	52.0
	女性	818	9.0	71.0	19.9
	65～69歳	211	2.4	86.7	10.9
	70～74歳	213	4.7	79.3	16.0
	75～79歳	177	10.7	68.9	20.3
	80～84歳	130	12.3	58.5	29.2
	85歳以上	84	27.4	35.7	36.9

		回答者数(人)	該当	非該当	無回答
全体		1,455	9.1	71.1	19.8
認定状況別	非認定者	1,176	4.4	79.8	15.8
	一般	822	0.0	84.1	15.9
	予防	354	14.7	69.8	15.5
	認定者	162	46.9	20.4	32.7
	要支援	92	37.0	28.3	34.8
	要介護	70	60.0	10.0	30.0

<評価項目の回答結果>

	非認定者(1,176人)		認定者(162人)	
	一般(822人)	予防(354人)	要支援(92人)	要介護(70人)
問23① バスや電車で一人で外出していますか(自家用車でも可) (できるけどしていない・できない・・・1点)	8.8		62.3	
	5.5	16.4	50.0	78.6
問23② 日用品の買い物をしていますか (できるけどしていない・できない・・・1点)	10.6		60.5	
	9.2	13.8	44.6	81.4
問23⑤ 預貯金の出し入れをしていますか (できるけどしていない・できない・・・1点)	12.2		51.9	
	10.5	16.4	34.8	74.3
問24⑤ 友人の家を訪ねていますか (いいえ・・・1点)	41.8		77.2	
	37.1	52.5	73.9	81.4
問24⑥ 家族や友人の相談にのっていますか (いいえ・・・1点)	19.6		57.4	
	15.5	29.1	46.7	71.4

★ 20項目のうち、他の評価項目に含まれない5項目について掲載

図表6-69 虚弱の評価方法

問番号	項目	配点	選択肢
問 23①	バスや電車で一人で外出していますか(自家用車でも可)	1	「2.できるけどしていない」 「3.できない」
		0	「1.できるし、している」
問 23②	日用品の買物をしていますか	1	「2.できるけどしていない」 「3.できない」
		0	「1.できるし、している」
問 23⑤	預貯金の出し入れをしていますか	1	「2.できるけどしていない」 「3.できない」
		0	「1.できるし、している」
問 24⑤	友人の家を訪ねていますか	1	「2.いいえ」
		0	「1.はい」
問 24⑥	家族や友人の相談にのっていますか	1	「2.いいえ」
		0	「1.はい」
問 12①	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていただけますか	1	「2.いいえ」
		0	「1.はい」
問 12②	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ちあがっていますか	1	「2.いいえ」
		0	「1.はい」
問 12③	15分位続けて歩いていますか	1	「2.いいえ」
		0	「1.はい」
問 15①	この1年間に転んだことはありますか	1	「1.はい」
		0	「2.いいえ」
問 15②	転倒に対する不安は大きいですか	1	「1.はい」
		0	「2.いいえ」
問 16①	6カ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1	「1.はい」
		0	「2.いいえ」
問 3	BMI(体重(kg)÷身長(m)÷身長(m))	1	18.5 未満
		0	18.5 以上
問 16②	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1	「1.はい」
		0	「2.いいえ」
問 16③	お茶や汁物等でむせることがありますか	1	「1.はい」
		0	「2.いいえ」
問 16④	口の渇きが気になりますか	1	「1.はい」
		0	「2.いいえ」
問 12⑤	週に1回以上は外出していますか	1	「2.いいえ」
		0	「1.はい」
問 12⑥	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1	「1.はい」
		0	「2.いいえ」
問 20①	周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか	1	「1.はい」
		0	「2.いいえ」
問 20②	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	1	「2.いいえ」
		0	「1.はい」
問 20③	今日が何月何日かわからない時がありますか	1	「1.はい」
		0	「2.いいえ」

★20項目のうち、10項目以上に該当した場合、リスクあり(該当者)と判定

(9)うつ

- ・うつ該当者の割合は全体の 29.3%であり、男性 30.5%、女性 28.6%と男女差は比較的小さいが、女性は年齢が高くなるほど割合が高くなっている。
- ・認定状況別にみると、該当者の割合は一般高齢者の 15.2%から 2 次予防対象者では 49.4%と約 3.2 倍に増加している。一方、要支援認定者は 60.9%、要介護認定者は 57.1%と要支援認定者の方が高い割合となっている。

図表6-70 うつ

		回答者数(人)	該当	非該当	無回答
全体		1,455	29.3	61.6	9.1
性・年齢別	男性	623	30.5	61.6	7.9
	65～69 歳	161	30.4	64.6	5.0
	70～74 歳	181	25.4	68.0	6.6
	75～79 歳	136	33.8	58.1	8.1
	80～84 歳	87	21.8	65.5	12.6
	85 歳以上	50	52.0	34.0	14.0
	女性	818	28.6	62.1	9.3
	65～69 歳	211	14.7	77.3	8.1
	70～74 歳	213	23.5	70.4	6.1
	75～79 歳	177	33.3	56.5	10.2
	80～84 歳	130	36.9	48.5	14.6
	85 歳以上	84	53.6	35.7	10.7

		回答者数(人)	該当	非該当	無回答
全体		1,455	29.3	61.6	9.1
認定状況別	非認定者	1,176	25.5	66.7	7.8
	一般	822	15.2	77.1	7.7
	予防	354	49.4	42.4	8.2
	認定者	162	59.3	30.9	9.9
	要支援	92	60.9	33.7	5.4
	要介護	70	57.1	27.1	15.7

<評価項目の回答結果>

	非認定者(1,176人)		認定者(162人)	
	一般(822人)	予防(354人)	要支援(92人)	要介護(70人)
問37① 毎日の生活に充実感がない (はい・・・1点)	19.3		47.5	
問37② これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった (はい・・・1点)	13.6	32.5	48.9	45.7
問37③ 以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる (はい・・・1点)	24.8		58.6	
問37④ 自分が役に立つ人間だと思えない (はい・・・1点)	14.2	49.4	60.9	55.7
問37⑤ わけもなく疲れたような感じがする (はい・・・1点)	20.2		37.7	
	13.4	36.2	37.0	38.6
	26.4		53.7	
	16.8	48.9	56.5	50.0

★合計が 2 点以上でリスクあり(該当者)と判定



(10)2次予防対象者

- ・基本チェックリストにおける 2 次予防対象者（運動器の機能低下、低栄養、口腔機能の低下、虚弱のいずれかに該当した人）の割合は非認定者（一般高齢者）の 30.1%であり、男性 29.6%、女性 30.1%と、男性より女性の方が、また年齢層が高くなるほど割合が高くなっている。

図表6-71 2次予防対象者

		回答者数(人)	該当	非該当	無回答
全体		1,176	30.1	67.9	2.0
性・年齢別	男性	517	29.6	69.1	1.4
	65～69歳	150	26.0	73.3	0.7
	70～74歳	159	26.4	73.0	0.6
	75～79歳	107	29.9	68.2	1.9
	80～84歳	69	34.8	63.8	1.4
	85歳以上	27	48.1	44.4	7.4
	女性	651	30.1	67.3	2.6
	65～69歳	197	21.8	77.2	1.0
	70～74歳	184	25.5	72.8	1.6
	75～79歳	143	32.2	63.6	4.2
	80～84歳	88	44.3	52.3	3.4
	85歳以上	37	56.8	35.1	8.1

		回答者数(人)	該当	非該当	無回答
全体		1,176	30.1	67.9	2.0
認定状況別	非認定者	1,176	30.1	67.9	2.0
	一般	822	0.0	97.1	2.9
	予防	354	100.0	0.0	0.0
	認定者	-	-	-	-
	要支援	-	-	-	-
	要介護	-	-	-	-

※基本チェックリストとは、運動、栄養、口腔、閉じこもり、虚弱などを判定する 25 項目の質問により、生活機能低下の可能性を把握するものです。

※2次予防対象者とは、生活機能の低下があるため、要支援・要介護になるおそれがあると認定された高齢者をいいます。

図表6-72 高齢者の生活機能状況の概念図



(11)IADL(手段的日常生活動作)

- ・ IADL (手段的日常生活動作) 低下者の割合は全体の 11.3%であり、男性 14.8%、女性 8.8%と女性より男性の方が高いが、女性は年齢が高くなるほど割合が高くなっている。
- ・ 認定状況別にみると、低下者の割合は、一般高齢者の 4.7%、2次予防対象者の 10.8%、要支援認定者の 30.4%、要介護認定者の 70.0%となっている。

図表6-73 IADL(手段的日常生活動作)

		回答者数(人)	高い(5点)	やや低い(4点)	低い(3点以下)	無回答	低下者
全体		1,455	80.5	4.5	6.8	8.2	11.3
性・年齢別	男性	623	76.6	9.0	5.8	8.7	14.8
	65～69歳	161	85.7	8.1	1.9	4.3	10.0
	70～74歳	181	78.5	11.0	3.9	6.6	14.9
	75～79歳	136	77.9	5.9	6.6	9.6	12.5
	80～84歳	87	69.0	10.3	5.7	14.9	16.0
	85歳以上	50	50.0	10.0	24.0	16.0	34.0
	女性	818	83.6	1.2	7.6	7.6	8.8
	65～69歳	211	95.7	0.0	0.9	3.3	0.9
	70～74歳	213	93.0	0.9	1.9	4.2	2.8
	75～79歳	177	83.1	1.1	7.9	7.9	9.0
認定状況別	非認定者	1,176	86.8	4.3	2.2	6.7	6.5
	一般	822	88.4	3.8	0.9	6.9	4.7
	予防	354	83.1	5.4	5.4	6.2	10.8
	認定者	162	39.5	7.4	40.1	13.0	47.5
	要支援	92	53.3	7.6	22.8	16.3	30.4
	要介護	70	21.4	7.1	62.9	8.6	70.0

※低下者=「やや低い(4点)」+「低い(3点以下)」。

<評価項目の回答結果>

	非認定者(1,176人)		認定者(162人)	
	一般(822人)	予防(354人)	要支援(92人)	要介護(70人)
問23① バスや電車で一人で外出していますか(自家用車でも可) (できるし、している・できるけどしていない…1点)	95.7		53.1	
	96.8	93.2	68.5	32.9
問23② 日用品の買い物をしていますか (できるし、している・できるけどしていない…1点)	96.3		54.9	
	96.8	94.9	66.3	40.0
問23③ 自分で食事の用意をしていますか (できるし、している・できるけどしていない…1点)	91.4		53.1	
	92.6	88.7	68.5	32.9
問23④ 請求書の支払いをしていますか (できるし、している・できるけどしていない…1点)	94.8		70.4	
	95.4	93.5	82.6	54.3
問23⑤ 預貯金の出し入れをしていますか (できるし、している・できるけどしていない…1点)	94.9		66.7	
	95.7	92.9	84.8	42.9

★5点を「高い」、4点を「やや低い」、0～3点を「低い」と判定

(12)ADL(日常生活動作)

- ・ ADL (日常生活動作) 低下者の割合は全体の 20.9%であり、男性 20.1%、女性 21.5%と男女差は比較的小さい。また年齢層については、女性は年齢が高くなるほど割合が高くなっている。
- ・ 認定状況別にみると、低下者の割合は、一般高齢者の 8.7%、2次予防対象者の 27.4%、要支援認定者の 64.1%、要介護認定者の 78.6%となっている。

図表6-74 ADL(日常生活動作)

		回答者数(人)	完全自立(100点)	一部介助(65～95点)	起居移動中心介助(45～60点)	介助(40点未満)	無回答	低下者
全体		1,455	74.2	18.0	2.0	0.9	4.9	20.9
性・年齢別	男性	623	75.8	18.0	1.6	0.5	4.2	20.1
	65～69歳	161	87.6	10.6	0.0	0.0	1.9	10.6
	70～74歳	181	82.9	12.2	1.7	0.6	2.8	14.5
	75～79歳	136	69.9	22.8	2.2	0.0	5.1	25.0
	80～84歳	87	71.3	18.4	2.3	0.0	8.0	20.7
	85歳以上	50	38.0	46.0	4.0	4.0	8.0	54.0
	女性	818	73.3	18.1	2.2	1.2	5.1	21.5
	65～69歳	211	91.9	5.2	0.5	0.0	2.4	5.7
	70～74歳	213	82.6	13.6	0.5	0.0	3.3	14.1
	75～79歳	177	68.9	22.0	1.1	0.0	7.9	23.1
80～84歳	130	58.5	26.2	4.6	1.5	9.2	32.3	
85歳以上	84	35.7	40.5	9.5	9.5	4.8	59.5	
認定状況別	非認定者	1,176	81.7	13.9	0.4	0.1	3.9	14.4
	一般	822	87.5	8.6	0.1	0.0	3.8	8.7
	予防	354	68.4	26.0	1.1	0.3	4.2	27.4
	認定者	162	23.5	51.2	14.8	4.3	6.2	70.3
	要支援	92	28.3	57.6	5.4	1.1	7.6	64.1
	要介護	70	17.1	42.9	27.1	8.6	4.3	78.6

※低下者=「一部介助(65～95点)」+「起居移動中心介助(45～60点)」  
+「介助(40点未満)」。

<評価項目の回答結果>

	非認定者(1,176人)		認定者(162人)	
	一般 (822人)	予防 (354人)	要支援 (92人)	要介護 (70人)
問23⑥ 食事は自分で食べられますか(できる)	97.9		85.2	
	97.9	97.7	93.5	74.3
問23⑦ 寝床に入るとき、何らかの介助を受けますか(受けない)	97.5		82.1	
	97.7	97.2	89.1	72.9
問23⑧ 座っていることができますか(できる)	93.7		75.9	
	95.5	89.5	76.1	75.7
問23⑨ 自分で洗面や歯磨きができますか(できる)	97.8		88.9	
	97.6	98.3	95.7	80.0
問23⑩ 自分でトイレができますか(できる)	98.0		86.4	
	97.7	98.6	94.6	75.7
問23⑪ 自分で入浴ができますか(できる)	97.5		68.5	
	97.7	97.2	81.5	51.4
問23⑫ 50メートル以上歩けますか(できる)	96.7		55.6	
	97.6	94.6	63.0	45.7
問23⑬ 階段を昇り降りできますか(できる)	96.3		61.7	
	97.2	94.1	68.5	52.9
問23⑭ 自分で着替えができますか(できる)	97.6		84.6	
	97.4	98.0	94.6	71.4
問23⑮ 大便が間に合わなかったことはありますか(ない)	94.0		61.7	
	96.0	89.3	75.0	44.3
問23⑯ 尿が間に合わなかったことはありますか(ない)	85.0		48.1	
	89.2	75.4	57.6	35.7

図表6-75 ADL(日常生活動作)の評価方法

問番号	項目	配点	選択肢
問 23⑥	食事は自分で食べられますか	10	「1.できる」
		5	「2.一部介助(おかずを切ってもらなど)があればできる」
		0	「3.できない」
問 23⑦	寝床に入るとき、何らかの介助を受けますか	15	「1.受けない」
		10	「2.一部介助があればできる」
		5	「3.全面的な介助が必要」(⑧が「1.できる」「2.支えが必要」の場合)
		0	「3.全面的な介助が必要」(⑧が「3.できない」の場合)
問 23⑨	自分で洗面や歯磨きができますか	5	「1.できる」
		0	「2.一部介助があればできる」「3.できない」
問 23⑩	自分でトイレができますか	10	「1.できる」
		5	「2.一部介助(他人に支えてもらう)があればできる」
		0	「3.できない」
問 23⑪	自分で入浴ができますか	5	「1.できる」
		0	「2.一部介助(他人に支えてもらう)があればできる」「3.できない」

問番号	項目	配点	選択肢
問 23⑫	50メートル以上歩けますか	15	「1.できる」
		10	「2.一部介助(他人に支えてもらう)があればできる」
		0	「3.できない」
問 23⑬	階段を昇り降りできますか	10	「1.できる」
		5	「2.介助があればできる」
		0	「3.できない」
問 23⑭	自分で着替えができますか	10	「1.できる」
		5	「2.介助があればできる」
		0	「3.できない」
問 23⑮	大便の失敗がありますか	10	「1.ない」
		5	「2.ときどきある」
		0	「3.よくある」
問 23⑯	尿漏れや尿失禁がありますか	10	「1.ない」
		5	「2.ときどきある」
		0	「3.よくある」

★100点を「自立」、60点を「起居移動に介助が必要」、40点以下を「ほぼすべてに介助が必要」と判定

(13) 知的能動性

- ・ 余暇や創作など生活を楽しむ能力（知的能動性）の低下者の割合は全体の 34.2%であり、男性 34.5%、女性 33.9%と男女差は比較的小さい。
- ・ 認定状況別にみると、低下者の割合は、一般高齢者の 25.2%、2次予防対象者の 40.9%、要支援認定者の 57.6%、要介護認定者の 75.7%となっている。

図表6-76 知的能動性

		回答者数(人)	高い(4点)	やや低い(3点)	低い(2点以下)	無回答	低下者
全体		1,455	61.0	18.5	15.7	4.8	34.2
性・年齢別	男性	623	60.8	19.4	15.1	4.7	34.5
	65～69歳	161	55.3	28.0	14.3	2.5	42.3
	70～74歳	181	64.1	16.6	16.0	3.3	32.6
	75～79歳	136	65.4	16.2	15.4	2.9	31.6
	80～84歳	87	65.5	19.5	6.9	8.0	26.4
	85歳以上	50	48.0	10.0	28.0	14.0	38.0
	女性	818	61.4	18.1	15.8	4.8	33.9
	65～69歳	211	68.7	16.1	11.8	3.3	27.9
	70～74歳	213	70.4	17.4	8.0	4.2	25.4
	75～79歳	177	61.6	18.1	16.9	3.4	35.0
80～84歳	130	51.5	20.8	20.0	7.7	40.8	
85歳以上	84	34.5	21.4	35.7	8.3	57.1	
認定状況別	非認定者	1,176	65.7	19.0	11.0	4.3	30.0
	一般	822	70.8	17.5	7.7	4.0	25.2
	予防	354	54.0	22.3	18.6	5.1	40.9
	認定者	162	29.0	16.7	48.8	5.6	65.5
	要支援	92	37.0	22.8	34.8	5.4	57.6
	要介護	70	18.6	8.6	67.1	5.7	75.7

※低下者＝「やや低い(3点)」＋「低い(2点以下)」。

<評価項目の回答結果>

	非認定者(1,176人)		認定者(162人)	
	一般(822人)	予防(354人)	要支援(92人)	要介護(70人)
問24① 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか (はい・・・1点)	91.3		46.9	
	93.7	85.9	60.9	28.6
問24② 新聞を読んでいますか (はい・・・1点)	85.2		64.2	
	88.2	78.2	73.9	51.4
問24③ 本や雑誌を読んでいますか (はい・・・1点)	79.0		46.9	
	83.3	68.9	58.7	31.4
問24④ 健康についての記事や番組に関心がありますか (はい・・・1点)	90.0		72.8	
	90.9	87.9	83.7	58.6

★4点を「高い」、3点を「やや低い」、0～2点を「低い」と判定

## (14)社会的役割

- ・地域で社会的な役割を果たす能力（社会的役割）の低下者の割合は全体の 51.4%であり、男性 60.0%、女性 45.1%と男性の方が高いが、女性は年齢が高くなるほど割合が高くなっている。
- ・認定状況別にみると、低下者の割合は、一般高齢者においても 42.2%、2 次予防対象者では 58.7%であり、要支援認定者では 80.5%、要介護認定者では 90.0%となっている。

図表6-77 社会的役割

		回答者数(人)	高い(4点)	やや低い(3点)	低い(2点以下)	無回答	低下者
全体		1,455	43.2	23.0	28.4	5.4	51.4
性・年齢別	男性	623	35.0	25.2	34.8	5.0	60.0
	65～69歳	161	39.1	23.6	34.8	2.5	58.4
	70～74歳	181	37.6	28.7	29.8	3.9	58.5
	75～79歳	136	30.1	27.2	36.8	5.9	64.0
	80～84歳	87	40.2	20.7	34.5	4.6	55.2
	85歳以上	50	18.0	18.0	48.0	16.0	66.0
	女性	818	49.3	21.5	23.6	5.6	45.1
	65～69歳	211	60.2	23.2	13.7	2.8	36.9
	70～74歳	213	56.3	22.1	15.0	6.6	37.1
	75～79歳	177	51.4	22.6	20.9	5.1	43.5
認定状況別	非認定者	1,176	48.4	24.3	22.9	4.4	47.2
	一般	822	53.8	24.7	17.5	4.0	42.2
	予防	354	35.9	23.4	35.3	5.4	58.7
	認定者	162	8.0	14.8	69.8	7.4	84.6
	要支援	92	10.9	18.5	62.0	8.7	80.5
	要介護	70	4.3	10.0	80.0	5.7	90.0

※低下者＝「やや低い(3点)」＋「低い(2点以下)」。

### <評価項目の回答結果>

	非認定者(1,176人)		認定者(162人)	
	一般(822人)	予防(354人)	要支援(92人)	要介護(70人)
問24⑤ 友人の家を訪ねていますか (はい・・・1点)	56.0		19.1	
	60.5	45.5	21.7	15.7
問24⑥ 家族や友人の相談にのっていますか (はい・・・1点)	78.2		39.5	
	82.7	67.8	50.0	25.7
問24⑦ 病人を見舞うことができますか (はい・・・1点)	91.6		39.5	
	94.4	85.0	46.7	30.0
問24⑧ 若い人に自分から話しかけることがありますか (はい・・・1点)	80.7		56.8	
	85.0	70.6	68.5	41.4

★4点を「高い」、3点を「やや低い」、0～2点を「低い」と判定